

公益社団法人調布青年会議所
理事長報告

2013年度 理事長 嵐 祐子

1 はじめに

一年間おつかれさまでした。そしてありがとうございました。私にとってはあっという間の一年でした。一昨年の冬、三ツ木直前理事長から理事長バッジを引き継いで新春地域懇談会での所信表明がずっと心にひっかかったままお正月を迎えました。調布の新春地域懇談会はちょうど月半ばで、1月前半の他 LOM の賀詞交歓会では毎回手に汗を握る思いで同期理事長達の所信を聞いていたことを昨日のこのように思い出します。調布の前日は三鷹の賀詞交歓会でしたが、懇親会が終わり会場を出たところで、一人の委員長から「理事長、いよいよ明日ですね。大丈夫ですか？」と聞かれました。実はまだその時点で何を話すべきか整理できていなかったで「話す内容が決まらなくて」と答えました。すると「大丈夫ですよ。僕には考えがないから話せないけど、嵐さんはいつも考えていることを話すだけですから」と言われました。その時「綺麗な言葉を綴らなくても、自分が思っていることをシンプルに話せばいいんだな」とふっと気持ちが軽くなったことを覚えています。

いよいよ当日。所信表明は基本暗記なのですが、念のため原稿も用意していきました。歴代理事長のみなさまからは「(壇上に)原稿持っていくの?やめたら?」「自分が言いたいことを好きなように言ってください」「言葉が出てこなくなったときは下を向くな、上を向け。そうしたら必ず次の言葉が出てくるから。下を向いたら絶対出てこないぞ」などのアドバイスをいただきました。終わってみればさすが歴代理事長、どの言葉も真実でした。でも心配だったのでリハーサルの後、演台に原稿を並べておきました。そしていざ本番。暗がりの中でステージに登壇し、スタンバイしていました。照明がついて一礼をした瞬間、演台にセットしておいた原稿が2枚、床の上に落ちていました。暗闇の中でマイクスタンドを立ててくれたメンバーが原稿に気付かず、ちょうど中間あたりの2枚を床に落としてしまったようでした。あの時床に落ちた原稿を見て「もう頼れるものはなくなった」と覚悟を決め、自分の言葉で原稿に頼ることなく所信を表明することができました。原稿を落とすという形で背中を押してくださったのは2014年度理事長であり、当時渉外担当理事だった高橋裕二君です。そんな2013年度のスタートでした。

そして今年は、いつになく大きな試練がありました。東京ブロック協議会の会長を輩出する LOM である、ということです。ブロック会長の輩出 LOM ということで、いろいろな経験をさせていただきましたが、私とその重責を本当に実感したのは1月の京都會議だったかもしれません。あの時、私はこの一年間、LOM 運営と同様に会長、そしてブロック運営役員を支えようと心に決めました。

2014年度にバトンを託した今、一年間のメンバーの努力と苦労が決して無駄ではなかった、(公社)調布青年会議所はよりたくましい組織になった、と実感しています。2013年度は(公社)調布青年会議所が底力を見せた一年だったのではないのでしょうか。この自信と誇りを胸に2014年度が更なる飛躍を遂げることを確信しています。

2 まちづくり 未来への希望がもてるまちづくり

社会の先行き不透明感が依然として続く中、わが町調布では京王線立体交差事業に伴い、中心市街地が大きく変貌を遂げようとしております。ハード面の変化のみでなくおそらく産業構造や人口動態にも影響が及んでいくことでしょう。町や社会の移り変わりは当然のことながら、できうる事なら今よりももっといい社会であってほしい、きっとそうなる、そうできるに違いないという未来への希望がもてるまちを私たち自身でつくっていかなくてはなりません。

4月例会「『パパのための』調布で子育てを楽しもう!家族で調布を楽しもう!」は、日頃仕事と家庭の往復ばかりで、まちづくりとの接点がないお父さんに「子ども」というかけがえのない存在を通じてもっと地域社会に関心をもっていただく、という企画でした。当日は100人を超える親子連れの参加があり、ご協力いただいたNPO法人ファザーリングジャパンの方から「地域で子育て」「お父さんならではの子育て」のヒントを学びながら、「子育てを楽しもう!」「地域を知ればもっと子育てが楽しくなる!」というメッセージをお伝えしました。参加された方々との交

流が当日のみで終わらず、その先にお父さん同士のつながりが生まれることも企図していましたが、そこまでの展開は難しかったようです。しかし、子どもをもつメンバー、父親であるメンバーも増えている中で、日頃、自分が情熱を注いでいる青年会議所運動を家族に伝える機会として、また同じようにお子さんを育てている地域のお父さん達に青年会議所を知っていただく機会としての意味もあったのではないかと思います。そして、私はこの例会ポスターの写真が大好きです。メンバーが子どもと一緒に笑顔で写っている集合写真ですが、いつもとは違う優しさあふれる笑顔で、パパとしての凛々しさも漂っていて、誇らしく、頼もしい気持ちになりました。

私たち（公社）調布青年会議所は青年経済人団体です。メンバーは地域の経済活動を牽引するため、より豊かな社会をつくるためにそれぞれ本業を通して日夜奔走しています。ですが、それぞれが事業者として活躍する以外に、社会のしくみを整え、地域経済活性化、景気浮揚のためのムーブメントを起こす運動を展開していくことが求められています。10月には市内のもうひとつの青年経済人団体である調布市商工会青年部のみなさまとの共催事業として「調布青年経済人会議 2013 調布でつながろう！異業種交流会&セミナー」を開催しました。セミナーの講師にもつ焼き処い志井の石井宏治会長をお招きし、ビジネスにおいて人に感動を与えることがどれほど重要で素晴らしいことか、エピソードを交えてお話しいただきました。また、異業種交流会は、今後の展開も見据えて私たちと同世代の方々とのつながりをつくりたいと、年齢制限をつけての募集とさせていただきましたが、100名を超える来場があり、あらたなつながりが生まれる兆しを感じることができました。このつながりを地域経済活性化、豊かな社会の実現にどのように発展させていくことができるか、今後の課題であると考えています。

3 ひとつづくり 明るい豊かな社会の実現に向けて 未来の担い手育成

社会で起きている問題に目を向けた時あらためて気付く教育の大切さ。なぜなら、問題を生み出すのも解決するのも、今を生きる私たち自身であり、今の私たちの行動規範や判断基準は幼い頃から培われてきた価値観や教訓に基づいているからです。これからの社会を担う青少年世代に何を伝え、何を学んでもらうべきなのか。親世代とともに考え、取り組んで行く必要があります。そして、その積み重ねによって、今の社会にある問題は未来に向かって解決の道を歩むことができます。それが「まちづくりはひとつづくり」と言われるゆえんだと考えます。

5月に開催した第27回わんぱく相撲調布場所。日本の伝統、国技である相撲を通して、勝つための努力や精神力、勝負に挑む心構え、勝つ喜び、負ける悔しさ、そして、勝っても負けても相手を敬い礼を尽くす心など、人として生きる上で大切なものを学ぶことができます。今年は市内でも人の往来がにぎやかな仙川駅前を会場に開催しました。わんぱく相撲を知らない人、たまたま通りがかった人たちの目に触れる立地で、商店街や健全育成など地域の人たちに事前から当日運営までさまざまなご協力をいただき「地域の人たちと一緒につくるわんぱく相撲」であったと思います。（公社）調布青年会議所が27回まで続けてきたこの事業には、参加者の減少やマンネリ化などの課題もあります。しかし、日本人の心を伝え、心身を鍛えることのできるわんぱく相撲の可能性は、このような時代だからこそ無限に広がるのではないのでしょうか。今後もその可能性を追求していただきたいと思いますし、今回の仙川開催はそのための一つの試金石となったと感じています。

11月にはつつじヶ丘駅前にある白菊幼稚園をお借りして「キッズヨガフェスタ ～ヨガでつながろう～」を開催しました。ヨガには「結ぶ」「つなぐ」という意味があるそうです。コミュニティの希薄化、家庭内コミュニケーションの減少は、子どもたちの成長にマイナスの影響を与えているのではないかと。また、大人も子どももストレスを抱えて生きる現代社会において、ストレスを軽減する術を自ら身に付けることが、健全な青少年の育成につながるのではないかと、そんな担当委員会の想いから生まれたのがキッズヨガフェスタでした。当日は赤ちゃんから幼稚園生、小学生、その保護者を中心に約230名が参加し、ヨガを通して、親子のつながり、家族のつながり、地域のつながりを感じることができました。実際参加してみて、私自身心の安らぎを覚え、体が軽くなるのを感じ、会場内の一体感に心地よさをおぼえました。

健全な肉体には健全な精神が宿ると言います。よりよい未来に向けて、青少年世代が心身ともに健康で、人としての矜持を備えた社会の担い手として成長していくために、地域の大人として何ができるか、今後も青年会議所運動における重要な柱となるでしょう。

4 会員拡大とリーダーの育成

2013年度は新入会員として10名の新しい仲間を迎えることができました。また内3名が女性ということで、東京ブロック協議会 AWARD2013では「優秀女性拡大賞」を授賞いたしました。しかし年度末に11名が卒業、2名が退会となり、スタート人数と比べると3名減で次年度に引き継ぐこととなりました。青年会議所の特徴である40歳卒業という制度は、組織の新陳代謝を促すためにはとても優れたシステムです。ですが、運動の力となる数を維持するために、常に新しい仲間、会員拡大に注力していかなくてはならず、それはそれで大変なことです。

8月に実施した「ソーシャルクリーンさんぽ」は、青年会議所の三信条である「奉仕 修練 友情」をわかりやすく伝えることで会員拡大につなげたい、そんな想いが込められていました。具体的には、まちづくり運動の一つの形として花火大会翌日の町をゴミ拾いしながら歩き、終了後、バーベキューで交流を深めるという内容でした。小雨まじりの中を歩きましたが、思ったよりゴミは少なかったです。でも、こんなところに公園や空き地がある、道が狭くて危ない、など普段車や自転車で通りすぎてしまえば気付かない町の顔を見ることができ、日頃あまり交流のないメンバー同士、声をかけあい協力し合いながら作業ができたことがよかったです。また、終了後のバーベキューでは2名のオブザーバーが入会を決意してくださいました。青年会議所運動の本質をわかりやすく伝えながら拡大につなげる事業の組み立てはなかなか難しいものですが、こうした事業を通じて青年会議所の理念に共感し、共に活動する仲間が増えていくことを願っていますし、そうなるように今後も積極的にさまざまな切り口で共感を生む機会を創出していくことが大切だと思います。

青年会議所は人材育成機関です。40歳で卒業としているのは、卒業後のメンバーが青年会議所での経験を活かして地域のリーダーとして活躍することに大きな意義があると考えられているからです。すなわち、青年会議所の会員を増やしていくことは、地域の人材を発掘し、育成することでもあります。2014年度末は12名の卒業生を予定しておりますので、引き続き会員拡大に力を入れていきたいと思っています。

5 地域との連携 地域から頼られ信頼される組織を目指して

私たちは自分たちのミッションを達成するために、運動や事業を展開し、地域社会に向けて参画、協力を呼びかけます。それが社会のニーズと合致することもあれば合わないこともあり、一見、合わないようでも潜在的なニーズへのアプローチとなっていることもあります。社会はさまざまな想いをもちた人で構成されており、私たちが自分たちの運動に共感を得たいのと同様に、自分の想いに共感してもらいたい人たちがたくさんいます。何かを伝えたいならば、まずは相手のことを知ること。そしてこちらから心を開くこと。コミュニケーションにおいてとても大切なことです。組織であっても個人であっても、互いのミッションや想いを共有しあい、ともに助け合い連携を図っていくことは、まさにコミュニケーションといえるのではないのでしょうか。(公社)調布青年会議所が、地域から信頼され、必要とされる組織であるために本年度は地域とのコミュニケーションを大切にしようと心がけました。その一つの形が渉外担当理事の設置でした。できるだけフットワークよく柔軟に外部コミュニケーションを図れるように、そして信頼関係を育てていくことができるように。そのための協働体験の場が東日本大震災慰霊祭2013でした。慰霊とともに命の大切さ、地域防災への意識を喚起し、被災地の復興を支援する、その目的のために調布市仏教会、電気通信大学、調布から！復興支援プロジェクト、調布中学校ボランティアなどの参画をいただき実行委員会を結成いたしました。当日は、調布駅南口のスペースで東北復興応援物産販売や消防署や防災関連企業による防災体験、展示コーナーを展開し、夕方からは駅前公園においてキャンドルを献灯しての慰霊祭を執り行いました。また、その前の週末には仙川駅前公園でプレ企画として気仙沼を中心とした物産展も実行委員会で開催いたしました。「防災」という誰もが無関係ではられないテーマのもと、多くの方々と協働できた経験は青年会議所にとってとても意義深いことでした。

そして、事業を通じて学んだことを忘れず、育んだつながりを大切に、今後を活かしていただきたいと思います。

また、わんぱく相撲調布場所の翌週に実施した「調布シャルソン」も思い出深い事業のひとつです。「多摩地域でフルマラソンを開催したい」という目標をもった同世代の青年から協力を依頼され、参画することになりました。行事が重なる忙しい時期、間隙を縫うように準備を進めましたが、前日の徹夜でほぼ7割仕上げたような短期決戦の事業でした。青年会議所を知らない同世代の青年から私たちが頼られ、その期待に応えられたこと、年度途中で降ってわいた、そして例会でもない事業に多くのメンバーが協力してくださったこと、とてもうれしかったです。

私たちは日々の仕事の中でいくつもの案件を同時進行させています。年が変わっても、年度が変わっても、すべてが一斉に完結するという仕事はまずないのではないのでしょうか？それに対して、一年一年組織をつくりかえる青年会議所では、年度が終わり、定時総会での決算、事業報告が終了すれば、その年度、自分が与えられた役割は完了です。「すべてやりきった！」という達成感を毎年味わうことができるのも、青年会議所活動の醍醐味かもしれません。この得も言われぬ達成感、充実感を味わうためにも、組織運営上やるべき処理や手続きをきちんと行い、事業の完了後地域に対してその成果や効果をフィードバックしていくこと。ひいては、それが組織に対する地域からの信頼感、社会的信頼感の向上につながるのではないかと思います。

6 公益性の追求とガバナンスの強化

公益法人を取得して2年目。青年会議所運動のミッションは公益そのものでありますが、組織運営上は法制度との整合性を図るために頭を悩ませることが多くありました。特に財務処理、東京都への申請、報告作業は複雑かつ難解で、財務担当理事をはじめとする専務室の大きな負担になっています。本年度は各委員会が事業終了後2ヶ月以内に事業報告、決算報告を提出するという素晴らしい姿勢でスムーズな組織運営に協力してくださいました。また、少しずつ制度への理解や運用テクニックなども習得されつつありますので、あと数年たてばもっと円滑に進められるかもしれません。ですが、私たちの運動が制度との整合性に振り回され、事業の内容を制度に適合するように作り込むことに終始するようでは本末顛倒です。運動や事業の本質を見失うことなく、公益社団法人としての社会的責任を果たしていく、そのことをしっかりと意識していきたいと思います。この点については今後、(公社)日本青年会議所本会を中心とした制度改正への働きかけにも期待したいところです。

運営において公益性を高めていく上では、開かれた組織であることも重要です。本年度はホームページを刷新し、Facebookを活用するなど情報公開にも力を入れました。また、機関紙である「あすの調布」紙面もわかりやすく、読みやすくするための工夫を凝らし、(公社)調布青年会議所を紹介するリーフレットを作成するなど、積極的な情報発信をおこないました。

9月例会では国体応援をテーマに地域の方々との交流事業を実施し、10数年ぶりの100%例会を達成することもできました。青年会議所運動をよりしなやかに大胆に展開していくためにも、ブロック運営にコミットしていくためにも、LOM自体がアクティブメンバーを増やし結束力を高めていかななくてはならない。そんなメンバーの想いが投影された事業だったと思います。

そして2013年度は調布の看板を背負って出向する、渡邊弘樹東京ブロック協議会会長を支えるため多くのメンバーが東京ブロック協議会へ出向した年でもありました。一年半前、次年度に向けた準備を進めながら私と渡邊会長は「絶対LOMを割らないようにしよう」と誓いました。他の地域から、「会長を立てた年は内部が大変だった」とか「LOMが疲弊した」というようなことを聞いていましたが、渡邊会長は「これは絶対調布の力になる」と言い切りました。私には少なからず不安はありましたが、私利私欲ではなくやろうと決意した人を応援するのは当然だと思いましたが、そのためにLOMが壊れることはあってはならないと思っていました。予想以上に大変なこともありましたが、予想以上にとても楽しい一年でした。そして支えているつもりだった渡邊会長に私のほうが支えられてきたのだと感じています。ブロック役員として出向したメンバーは、必ず2014年度以降のLOMの大きな力になる、年度当初、所信に記したことは現実となりました。LOM運営とはまた違った厳しさの中で、問題意識を持ちながら努力してきた経験が、これからの(公社)調布青年会議所の力となりガバナンス強化につながることを実感しています。

7 おわりに

ふりかえってみると、2013年度非常に意識されたキーワードは「つながり」だったことがわかります。私たち自身がつながることの大切さ、心強さをどこかで感じ、追い求めていたということでしょうか。

私は今年、何よりもメンバーの主体性、自主性を尊重したいと思っていました。何事もやらされてやるのではなく、やりたいと思ってやってほしい。そして、楽しいと感じてほしいと思ってきました。みなさんがどう感じていたかはわかりませんが、私は一年を終えてみて、半分くらい成功したかな、と思っています。

なぜかというと、中堅メンバー、若いメンバーの活躍が目覚ましいからです。今年、来年とベテランメンバーの卒業が続く中での危機感もあったのだと思いますし、ブロック会長輩出という一年をみんなで乗り越えたことも大きかったと思います。今年一番の成果は私たちの成長です。そしてこれはすべて一人一人の自覚と努力の賜物であり、まちの財産です。成長予感の持てる組織はとてもエキサイティングで魅力的です。これからも魅力あふれる組織であり続けることを願っています。

副理事長、専務室をはじめ LOM を支え続けてくださったメンバー、ブロック運営を支えてくださったメンバーが来年度は一丸となって（公社）調布青年会議所の運動を推進してくれることでしょうか。2014年度、高橋裕二理事長率いる（公社）調布青年会議所、そして2015年度以降に続く（公社）調布青年会議所の運動展開を楽しみにしています。

一年間本当にありがとうございました。

事業報告

I. 事業

1. 地域社会の健全な発展や、文化及び芸術の振興に資する事業（定款第5条第1項第1号 事業）

(1) 東日本大震災 慰霊祭の実施／共催事業 専務理事・専務室

事業名称 2013年度公益社団法人調布青年会議所 東日本大震災慰霊祭 2013

開催日時 2013年3月10日(日)

■物販、防災ブース、コミュニティブース 10:00~16:00

■追悼式 18:00~20:00

開催場所

■物販、防災ブース、コミュニティブース 調布南口広場

■追悼式 調布駅前広場

参加員数：1900名（物販 1450名、防災 100名、追悼 200名、実行委員会 150名）

事業内容 本事業は、東北のための復興支援を続けること、自分の町は自分たちで守ること、失われた命を
れないために、今自分達ができることを行うことを目的に今年が第2回目の開催、昨年は1000基
以上の灯籠流しを多摩川で実施。主催は調布青年会議所を中心に市内の団体が共同で企画、実行委
員会を組織し運営。実施3日間で延べ177名のボランティアが参加。3月2日（土）・3日（日）
は仙川での気仙沼を中心とした東北物産販売を初のプレ企画として実施。3月10日（日）は調布
駅南口広場にて日中は東北支援物販・防災展・防災対策体験を行い、夜間には慰霊祭と700本の
キャンドル献灯を実施。参加費（一口100円以上）で誰でもご参加できるイベントとした。会場と
なった仙川駅前公園、調布駅南口広場では、市内団体や企業からの協賛金によるのぼりを設置。
東北物産販売では、岩手県、宮城県、福島県の東北3県の物産を販売し、3日間で270万円以上の
売上。各県の物産は全製品に放射能の安全について検査済みの商品販売。3月10日の会場では
関係省庁、行政、市内大学や防災関連企業による防災体験・展示コーナーを実施。

総括 今回の事業の目的は3.11を忘れないこと。被害の大きさやその悲惨さを伝えることはできないけ
れどその時抱いた『誰がために自分に何かできないか』という思いこそ本当に風化させてはいけな
いものだと思ふことができました。また、自分や自分の地域を自分たちで守ると意識を再度喚
起することも目的のひとつでした。この事業が、長く継続していくことが、今も復興に向けて進む
東北の皆さま、調布で暮らす我々全員に必要であり、今回できた市内の「つながり」を大切にこれ
からも事業を作って行きたいと考えております。

(2) 「あすの調布」の発行／主催事業 実行力広報総務委員会

発行月 1月、6月、9月、12月

配布先 メンバー、特別会員、賛助会員

事業内容 本年は蓮井君を編集長に任命し、他委員メンバーとともに年5回送らせていただきました。今回は
女性理事長が初ということもあり理事長の好きな色や花をモチーフにつくりこみまたあすの調布を
理事長に書いてもらいそれを使い込むなどして今までにない新しいものになったかと思われ
ます。中の内容に関しても、写真を多く使うことで見やすく、何の事業を行ったのかすぐわかるように
いたしました。1年間さまざまな例会を媒体紙にすることにより、今後の運動にも何かしらヒントに
なることもできますので大変良かったと思います。

(3) HPの管理・更新／主催事業 実行力広報総務委員会

開催日時 2013年1月1日から12月31日

事業内容 本年度はプロに任せられるものに関してはプロに任せ、セキュリティの強化や今までにない動き
やフェイスブックとの連携などすべてにおいて新しくして行うことができました。
しかしながら例会案内や更新が遅れてしまうことも多々あり来年の課題もできましたが2013年度
に関しては新たなチャレンジとしてはすごく前向きにできたと思っております。

- (4) 未来への希望がもてるまちづくりに関する事業の開催／主催事業 まち「つながり」向上委員会
 事業名称 2013年度公益社団法人調布青年会議所 4月例会
 「パパのための」調布で子育てを楽しもう！ 家族で調布を楽しもう！
 開催日時 2013年04月21日(日) 14時30分～17時00分
 開催場所 調布市文化会館 たづくり 12階大会議場
 参加者 一般120名・JC正会員およびOBオブザーバー66名 計186名
 事業内容 子育てを通じて地域で活躍する父親を増やしたいという目的で、父親子育て支援各種団体より3名の講師をお呼びし、セミナー・子育てマップづくり・委員会プレゼンの3部構成で事業を開催しました。多くの一般ファミリーに参加いただき、非常に賑やかな会となりました。父親の子育て観、地域との関わり方を知り、学んでいただく良い機会となりました。
- (5) 他団体事業の参画・協力/参画・参加事業 専務理事・専務室
 事業名称 調布ぬくもりまち検定
 開催日時 2013年11月17日(日) 14時00分～16時00分
 (WEB検定) 2013年6月24日(月) 0時00分～11月30日(土) 24時00分
 開催場所 調布市市民プラザあくろす あくろすホール(3F)
 参加者 初級編18名 観光編9名 WEB検定710名
 協力内容 郷土愛が育くまれ、調布での日常生活が楽しく充実したものになること、人々に愛され活気に満ちた住みやすいまちへ発展させるための担い手となること、調布が持つ独自の自然・歴史・文化・産業等を次世代につなげること、この3つを目的として「調布ぬくもりのまち検定」が実施され実行委員会に参画、問題作成や運営に協力しました。また、2回目となる今回の検定では、より多くの方にチャレンジしていただけるようインターネット上でのWEB検定も併せて実施されました。
- (6) 福祉まつりの参画/参画事業 笑顔育む青少年委員会・まち「つながり」向上委員会(合同事業)
 事業名称 第36回調布市福祉まつりの参画
 開催日時 2013年12月8日(日) 10時00分～15時00分
 開催場所 調布市役所前庭
 事業内容 第36回福祉まつりの趣旨に賛同し、(公社)調布青年会議所が行う販売収益を寄付に充て地域の福祉に役立てて頂くため、ちゃんこ鍋の販売を行いました。また、例年と同様、他団体の方々との交流も図らせていただきました。
- (7) 防災に関する普及啓発及び防災対策に関する調査・研究・発信／主催事業 専務室
 事業名称 2013年度公益社団法人調布青年会議所防災に関する普及啓発及び防災対策に関する調査・研究・発信 災害に強いまちづくりを目指して
 開催日時 2013年度通年
 事業内容 東日本大震災以降、首都直下あるいは南海トラフを震源地とする大規模地震の発生リスクが高まっている。東日本大震災発生直後は私たちの防災に対する意識も高まったが、時間が経つにつれ薄れていく現実がある。実際、明日起きるかもしれない災害ではあるが、まだまだ先のことかもしれない、いつ起きるかわからないだけに取り組みとしての優先順位が低くなってしまっているのが災害対策である。しかし、災害への備えは一朝一夕で成り立つものではなく、平常時からの地道な積み重ね、地域の関係づくりが重要となってくる。そのためにまずは、メンバー間での意識の共有、防災意識の向上、(公社)調布青年会議所の災害対策について調査・研究に取り組む必要があると考え、組織図、連絡系統図、行動基準の作成、会員企業等との災害時における連携体制構築、地域情報の把握(避難所、給水ポイント、病院、福祉施設等)、他団体との連携強化(協定締結含む)、応急手当普及員講習の受講、市内学校、自治会等での防災意識向上事業の実施(DIGなど)、災害対策用品の備蓄(JC-AID)の7項目を計画したが、実際実施できたのは次の3項目でした。
 ① 深大寺小学校での災害時図上訓練(DIG)の開催
 ② 被災地支援活動への協力(伊豆大島台風災害)
 ③ 災害対策用品の備蓄

(8) 他団体事業の参画・協力/参画・参加事業 専務理事・専務室

事業名称 調布シャルソン
開催日時 2013年5月26日(日)9時00分~17時00分
開催場所 (公社)調布青年会議所事務局および市内各所
参加者 一般およびJCメンバー約100名
協力内容 人との出会いや体験の共有を通して、街を楽しむ新しい形のマラソンとして全国で広まりつつある「シャルソン」を調布で開催したいと、多摩フルマラソンプロジェクトのメンバーより協力依頼を受けて参画。「シャルソン」はメドックマラソンというワインを飲みながらコスプレをして走るフランスのイベントを日本流、現代流にアレンジしたもの。決められたエリアの中でタイムを気にせず、自由なコースを共通のTシャツを着て走り、写真や居場所をフェイスブックなどのソーシャルメディアで共有するのが特徴。参加者は町の魅力や人との出会いを楽しみながら探検し、ゴール地点の交流パーティーでお互いの体験を共有しました。調布JCメンバーは企画運営、チェックポイントの提供、スタートやゴールの設営など全面協力し、実行委員長を遠藤晃弘君が務めました。

2. 地域産業経済に関する調査研究及び地域産業経済の健全な発展に資する事業(定款第5条第1項第2号 事業)

(1) 地域産業経済発展事業の実施/共催事業 まち「つながり」向上委員会

事業名称 2013年度公益社団法人調布青年会議所 2013調布青年経済人会議 10月第一例会
調布青年経済人会議 2013 調布でつながろう!異業種交流会&セミナー
開催日時 2013年10月29日(火)19:00~21:00
開催場所 調布市グリーンホール 小ホール
参加者 一般114名、JCメンバー55名、商工会青年部メンバー29名(JCメンバー重複15名)
事業内容 商工会青年部と連携した地域経済活性化のための事業として、セミナー・異業種交流会の2部構成で事業を開催しました。セミナーでは「もつ焼き処い志井」石井社長を講師としてお呼びし、「感動」をテーマに講演いただきました。異業種交流会では地域でのまちづくりやビジネスに広げていただく事を狙いとし設営しました。定員を超える参加者で大盛り上がりとなり、様々なつながりが見られ、次年度への会員拡大にもつながる事業となりました。

3. 次世代を担う児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業(定款第5条第1項第3号 事業)

(1) わんぱく相撲調布場所の開催/主催事業(全体事業)

2013年度わんぱく実行委員会(笑顔育む青少年委員会)

事業名称 2013年度公益社団法人調布青年会議所 5月例会
第27回わんぱく相撲 調布場所
開催日時 2013年5月19日(日)8時30分~16時00分
開催場所 クイーンズ伊勢丹仙川店 駐車場 及び 仙川駅前公園(クイーンズ伊勢丹前公園)、日向通り
参加者 調布・狛江市内の小学生188名+父兄
事業内容 わんぱく相撲を通じて自らの経験、体験によって様々な人間関係の中で礼節を学びつつ心身の鍛錬と健康の増進を図り勝ち負けによって自分でも痛みを感じ、人への思いやりの心に繋がる成長学びました。また、設営、運営、撤収のボランティアを市民の皆さまから募集をし、市民が作るわんぱく相撲を目指し、地域が一体となる事業ができました。また、来場される方へ、青年会議所やわんぱく相撲という地域活動を知って頂く機会となりました。

(2) ひとづくり明るい豊かな社会の創造に向けて未来の担い手育成事業の開催

／主催事業 ☆夢☆青少年委員会

事業名称 2013年度公益社団法人調布青年会議所 11月第二例会
キッズ ヨガフェスタ 2013 in chofu
開催日時 2013年11月24日(日)12時35分~16時20分
開催場所 学校法人キッズ東京学園白菊幼稚園
参加者 一般230名
事業内容 「結ぶ」「つなぐ」という意味を持っているキッズヨガ、家族ヨガを通じて子どもと親のふれあいの場を設け、体を使ったコミュニケーションを図り、子供達のつながり、親子の絆、親同士のつながり、家族をむすぶきっかけを提供致しました。
当日230名という来場のなかさな赤ちゃんから幼稚園生、そして小学生までの様々な青少年を対象に「結ぶ」「つなぐ」ということをテーマにキッズヨガを楽しんでもらうことができました。
また事業中に、最近では意外にも子供達があまりやることがないという焼きいもを体験していただきました。家族の方々から『とても楽しめた』、『またこのようなイベントをやってほしい』とたくさんのお声をいただいた意義ある事業ができました。

(3) 他団体事業の参画・協力/参画・参加事業 専務理事・専務室

事業名称 福島の子供たちに元気を！

開催日時 2013年8月17日(土)～19日(月)

開催場所 調布市 味の素スタジアム～国領神社～JAXA

参加者 少年サッカーチーム岩瀬FC18名、調布FC 総勢60名

協力内容 8月18日(日)、国領神社にて60名分のBBQの食材仕入れ、調理から後片付けまで担当した。今年ではデザートに福島産のももを用意したが、期待ほど喜んではもらえなかった。しかし今年3年目であり、当日だけの協力ではあるが、継続してやること、地域の人たちと協同すること、そして子供たちの笑顔や毎年楽しみにしていると聞くことができ、改めて継続することが信頼を生むのだと勉強することができた。

4. 地域を牽引する人材を育成する事業(定款第5条第1項第4号 事業)

(1) 会員拡大とリーダーの育成に関する事業の開催/主催事業 翔ばたけ! 拡大交流委員会

事業名称 2013年度公益社団法人調布青年会議所

ちょうふソーシャルクリーンさんぽ～ゴミ拾いから始まる新しい自分。新しい出会い。～

開催日時 2013年08月25日(日) 9時00分～14時30分

開催場所 調布市内各所・京王フローラルガーデン

参加者 一般13名・JC正会員およびOBオブザーバー55名 計68名

事業内容 会員拡大を主な事業目的に置きつつ、当日参加者を5グループに分け調布市内各所に落ちているゴミを拾いながら初めて出会った人達が交流を図りながら、JCの認知度やこういった団体、どのような人が所属しているのかを知ってもらいながら新入会員増を狙いました。

(2) 地域との連携 地域から頼られ、信頼される組織を目指して/主催事業 卒業生3K委員会

事業名称 2013年度(公社)調布青年会議所9月第二例会

やる気・根気・元気な地域応援

～100%例会を通して柴崎の地からゆりーと(国体)を応援しよう～

開催日時 2013年9月23日(月)～9月28日(土) 6日間

開催場所 (公社)調布青年会議所 事務局(RoomA及びB)(9月23日～27日)

味の素スタジアム(9月28日)

参加者 436名(内訳:9月23日140名、9月24日70名、9月25日64名、9月26日62名、9月27日100名)

事業内容 本年度、調布市にある味の素スタジアムをメイン会場とする東京国体が開催されました。幅広い多くの方々に国体の情報を提供するため、まず、柴崎を中心とした地域の皆様に、国体をPRする等の公益的な活動をしている私たちの存在と運動を知って頂き、私たちも柴崎を知り地域の問題に対して総合連携ができる関係を築いていくことにより、結果的に国体を盛り上げる事業を行いました。また、卒業生をメンバーとする卒業生3K委員会が先頭に立ち、国体を盛り上げるため柴崎を中心とした地域の皆様に私たちの存在と運動を広めることを通じて、(公社)調布青年会議所内の連携を更に深め、事業開催日程を6日間とすることで、数年間達成されていない出席率100%例会を目指し達成することが出来ました。

5. 新年度の運動方針を発表する事業(定款第5条第2項第3号 事業)

(1) 新春地域懇談会の開催/主催事業 卒業生3K委員会

事業名称 2013年度公益社団法人調布青年会議所1月例会

2013年度公益社団法人調布青年会議所並びに同シニアクラブ合同新春地域懇談会

開催日時 2013年1月11日(金) 18時30分～21時00分

開催場所 調布市文化会館たづくり12階大会議場および12階会議室

参加者 220名

事業内容 新年度のスタートにあたり、日頃より(公社)調布青年会議所の運動に対し、ご理解・ご協力を頂いている地域諸団体や行政関係の皆様並びに市民の方々に、2013年度(公社)調布青年会議所の基本方針を披露し、本年度も引き続き私たちの運動に対してご理解・ご協力を頂けるよう新春地域懇談会をメンバー丸となって開催致しました。

6. 事業年度毎に事業年度を振り返る事業（定款第5条第2項第4号 事業）

(1) 卒業例会の開催／主催事業 翔ばたけ！拡大交流委員会

事業名称 第一部：『卒業式』～凛として翔ばたけ！一朵の雲を目指し～
第二部：『納会』

開催日時 2013年12月15日（日） 14時30分～20時30分

開催場所 調布クレストンホテル8階

参加者 JCメンバー69名・JC正会員およびOBオブザーバー36名 計105名

事業内容 2013年度最後の例会として、11名の卒業生を送り出すべく卒業式及び納会を開催しました。1部では卒業生お一人お一人にスピーチをいただくと共に後輩達へのメッセージを。2部では拡大委員会によるアトラクション、一年を振り返って皆さんに楽しんでもらえたことと思います。

7. その他本会の目的を達成するために必要な事業（定款第5条第2項第5号 事業）

(1) 会員拡大の調査研究／調査研究事業 翔ばたけ！拡大交流委員会

事業名称 2013年度公益社団法人調布青年会議所 会員拡大の調査研究に伴う予算執行に関する件

開催日時 2013年 通年

開催場所 (公社)調布青年会議所事務局市内各地現役OB会社及び自宅周辺総会会場等

参加者 なし

事業内容 2008年ぶりに調布青年会議所の対外パンフレットを作成し、新入会員候補者や各例会開催時に広告媒体として配布をいたしました。また、シニアクラブ及び配布協力の頂ける市内各所に配布することにより青年会議所運動及び活動内容を広く市民に広報することができました。

(2) シニアクラブ合同懇親会の開催／主催事業 実行力広報総務委員会

事業名称 2013年度公益社団法人調布青年会議所 7月例会

シニアクラブ合同納涼例会

開催日時 2013年7月6日（土） 18時30分～21時00分

開催場所 調布市文化会館 たづくり 12階大会議場

参加者 (公社)調布青年会議所 正会員(45名) シニアクラブ(37名)

事業内容 毎年行われているシニアとの合同納涼例会、本年度はなるべく多くの諸先輩たちに声を掛けさせていただき、現役との交流を大事に考え行わせていただきました。その甲斐あって例年になく参加人数にもなり大盛況に終了いたしました。また2次会の懇親会はシニアクラブの事務局にもみなさお願いして合同で行われました。またそこでは更なる懇親ができたと考えます

(3) 東京ブロック協議会会員大会参加／主催事業 専務室

事業名称 2013年度公益社団法人調布青年会議所 6月例会

開催日時 2013年6月2日 9時30分～18時

参加者 (公社)調布青年会議所 正会員(36名)

事業内容 39年ぶりの東京ブロック協議会の会長を輩出ということで、多くのメンバーに東京ブロック大会に参加してもらえるよう例会と位置づけ、交通アクセス改善のためにバスを手配し会場と調布間を3往復させた。会場に足を運ぶことで2013年度東京ブロック協議会の運動目的やスケール感を肌で感じることができ、各分科会やメインフォーラムに参加することで新たな気づきや知識を得ることが出来たのではないかと。

(4) 会員及び会員家族交流会／主催事業 専務室

事業名称 会員及び会員家族交流会

開催日時 2013年8月25日

参加者 (公社)調布青年会議所 正会員(55名)

事業内容 例会における公益事業の割合が高くなっている中、会員相互の交流を図るためにバーベキューを開催しました。

II. その他

総会の開催／
理事会の運営／

※総会報告を参照
※理事会報告を参照

総 会 報 告

第 2 回 定時総会（2月例会）

- 1、招集年月日 2013年2月14日 木曜日
- 2、開催年月日 2013年2月21日 木曜日
- 3、開催場所 調布市文化会館たづくり 8階 映像シアター
- 4、正会員数 66名
- 5、出席正会員数 54名（本人出席45名 委任状出席9名）
- 6、議事
議長選出の件 平松明君
定足数の確認
議事録署名人の選任 菅寛人君 加藤百恵君
第一号議案 2013年度公益社団法人調布青年会議所 2012年度 事業報告承認に関する件
第二号議案 2013年度公益社団法人調布青年会議所 2012年度 決算報告承認に関する件
第三号議案 2013年度公益社団法人調布青年会議所 事業計画変更（案）承認に関する件
第四号議案 2013年度公益社団法人調布青年会議所 補正予算（案）承認に関する件

以上全議案可決承認

第 1 回 臨時総会（9月例会）

- 1、招集年月日 2013年9月11日 木曜日
- 2、開催年月日 2013年9月19日 木曜日
- 3、開催場所 電気通信大学創立80周年記念会館リサーチ3階フォーラム
- 4、正会員数 70名
- 5、出席正会員数 57名（本人出席42名 委任状出席15名）
- 6、議事
議長選出の件 柴田実久君
定足数の確認
議事録署名人の選任 畑野政大君 高橋裕二君
第一号議案 2014年度公益社団法人調布青年会議所 理事長選挙当選者承認に関する件
第二号議案 2014年度公益社団法人調布青年会議所 理事役員予定者承認に関する件
以上全議案可決承認

第 2 回 臨時総会（12月第一例会）

- 1、招集年月日 2013年11月28日 木曜日
- 2、開催年月日 2013年12月5日 木曜日
- 3、開催場所 調布市 市民プラザあくろす3階 あくろすホール
- 4、正会員数 72名
- 5、出席正会員数 54名（本人出席41名 委任状出席13名）
- 6、議事
議長選出の件 鮎川有祐君
定足数の確認
議事録署名人の選任 川端宏志君 松永和磨君 嵐祐子君
第一号議案 2014年度公益社団法人調布青年会議所 理事長承認に関する件
第二号議案 2014年度公益社団法人調布青年会議所 役員承認に関する件
第三号議案 2014年度公益社団法人調布青年会議所 組織図（案）承認に関する件
第四号議案 2014年度公益社団法人調布青年会議所 事業計画（案）承認に関する件
第五号議案 2014年度公益社団法人調布青年会議所 収支予算（案）承認に関する件
以上全議案可決承認

理事会報告

第1回理事会 日時：2012年11月20日(火) 20:00~22:00

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- ①2013年度(公社)調布青年会議所 顧問(案)選任に関する件 (可決)
- ②2013年度(公社)調布青年会議所 事業計画(案)承認に関する件 (可決)
- ③2013年度(公社)調布青年会議所 組織図(案)承認に関する件 (可決)
- ④2013年度(公社)調布青年会議所 収支予算(案)承認に関する件 (可決)
- ⑤2013年度(公社)調布青年会議所 1月例会日時場所承認に関する件 (可決)

協議事項：

- ①2013年度(公社)調布青年会議所 1月例会について

第2回理事会 日時：2012年12月27日(木) 20:00~22:00

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- ①2013年度(公社)調布青年会議所 1月例会に関する件 (可決)
- ②2013年度(公社)調布青年会議所 ホームページの管理・更新に伴う予算執行に関する件 (可決)
- ③2013年度(公社)調布青年会議所 あすの調布の発行に伴う予算執行に関する件 (可決)
- ④2013年度(公社)調布青年会議所 各クラブ名義使用に関する件 (可決)
- ⑤2013年度(公社)調布青年会議所 3月例会実行委員会設置並びに予算執行に関する件 (可決)
- ⑥2013年度(公社)調布青年会議所 新入会員入会に関する件 (可決)

協議事項：

なし

第3回理事会 日時：2013年1月24日(木) 20:00~22:00

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- ①2012年度(社)調布青年会議所 市民討議会決算報告に関する件 (可決)
- ②2012年度(社)調布青年会議所 11月第一例会決算報告に関する件 (可決)
- ③2013年度(公社)調布青年会議所 5月例会わんぱく相撲調布場所
実行委員会設置に関する件 (可決)
- ④2013年度(公社)調布青年会議所 会員拡大の調査研究に伴う予算執行に関する件 (可決)

協議事項：

- ①2013年度(公社)調布青年会議所 4月例会について

第1回臨時理事会 日時：2013年2月5日(火) 20:00~22:00

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- ①2012年度(公社)調布青年会議所 事業報告承認に関する件 (可決)
- ②2012年度(公社)調布青年会議所 決算報告承認に関する件 (可決)
- ③2013年度(公社)調布青年会議所 事業計画変更(案)承認に関する件 (可決)
- ④2013年度(公社)調布青年会議所 補正予算(案)承認に関する件 (可決)
- ⑤2013年度(公社)調布青年会議所 2月例会(定時総会)に関する件 (可決)
- ⑥2013年度(公社)調布青年会議所 5月例会 わんぱく相撲調布場所
実行委員会設置に関する件 (可決)

第4回理事会 日時：2013年2月28日(木) 20:00~22:00

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- ①2013年度(公社)調布青年会議所 3月例会 実施承認に関する件 (可決)
- ②2013年度(公社)調布青年会議所 4月例会 日時場所承認に関する件 (可決)

協議事項：

- ①2013年度(公社)調布青年会議所 4月例会について
- ②2013年度(公社)調布青年会議所 5月例会について

第5回理事会 日時：2013年3月28日(木) 20:00~22:00

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- ①2013年度（公社）調布青年会議所 4月例会に関する件（可決）
- ②2013年度（公社）調布青年会議所 5月例会日時場所承認に関する件（可決）
- ③2013年度（公社）調布青年会議所 正会員入会に関する件（可決）

協議事項：

- ①2013年度（公社）調布青年会議所 5月例会について

第6回理事会 日時：2013年4月25日(木) 20:00~22:00

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- ①2013年度（公社）調布青年会議所 1月例会決算報告承認に関する件（可決）
- ②2013年度（公社）調布青年会議所 5月例会に関する件（可決）
- ③2013年度（公社）調布青年会議所 防災に関する普及啓発及び防災対策に関する調査・研究・発信に伴う予算執行に関する件（可決）
- ④2013年度（公社）調布青年会議所 後援名義受託（深短恋）に関する件（可決）
- ⑤2013年度（公社）調布青年会議所 後援名義受託（アースデイ）に関する件（可決）
- ⑥2013年度（公社）調布青年会議所 他団体事業（調布シャルソン）の参画・協力に関する件（可決）
- ⑦2013年度（公社）調布青年会議所 正会員入会に関する件（可決）

協議事項：

- ①2013年度（公社）調布青年会議所 6月例会について
- ②2013年度（公社）調布青年会議所 7月例会について

第7回理事会 日時：2013年5月23日(木) 20:00~22:00

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- ①2013年度（公社）調布青年会議所 6月例会に関する件（可決）
- ②2013年度（公社）調布青年会議所 他団体事業（まち検定）の参画・協力に伴う予算執行に関する件（可決）
- ③2013年度（公社）調布青年会議所 正会員入会に関する件（可決）

協議事項：

- ①2013年度（公社）調布青年会議所 7月例会について
- ②2013年度（公社）調布青年会議所 8月例会について

第8回理事会 日時：2013年6月27日(木) 20:00~22:00

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- ①2013年度（公社）調布青年会議所 7月例会に関する件（可決）
- ②2013年度（公社）調布青年会議所 理事長選挙管理委員会設置に関する件（可決）
- ③2013年度（公社）調布青年会議所 他団体事業の参画・協力に関する件（可決）

協議事項：

- ①2013年度（公社）調布青年会議所 8月例会について
- ②2013年度（公社）調布青年会議所 9月例会について

第9回理事会 日時：2013年7月25日(木) 20:00~22:00

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

- ①2013年度（公社）調布青年会議所 8月例会に関する件（可決）
- ②2013年度（公社）調布青年会議所 会員及び会員家族交流会に関する件（取下）
- ③2013年度（公社）調布青年会議所 調布青年経済人会議 2013 実施に伴う実行委員会設置並びに予算執行に関する件（可決）
- ④2013年度（公社）調布青年会議所 「第58回調布市商工まつり」開催に伴う後援名義受託に関する件（可決）
- ⑤2013年度（公社）調布青年会議所 他団体事業（2013年度 福島の子ども達に元気を）参画・協力に関する件（可決）
- ⑥2013年度（公社）調布青年会議所 理事長選挙当選者承認に関する件（可決）
- ⑦2013年度（公社）調布青年会議所 正会員休会に関する件（可決）

協議事項：

①2013年度（公社）調布青年会議所 9月例会について

第10回理事会 日時：2013年8月22日(木) 20:00~22:00

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

① 2013年度（公社）調布青年会議所 会員及び会員家族交流会予算執行に関する件（可決）

②2013年度（公社）調布青年会議所 9月第二例会に関する件（可決）

③2014年度公益社団法人調布青年会議所 理事役員予定者承認に関する件（可決）

④2013年度（公社）調布青年会議所 9月第一例会（臨時総会）に関する件（可決）

協議事項：

①2013年度（公社）調布青年会議所 11月例会について

第2回臨時理事会 日時：2013年9月3日(火) 20:00~22:00

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

①2014年度（公社）調布青年会議所 理事役員予定者承認に関する件（可決）

②2013年度（公社）調布青年会議所 9月第一例会（臨時総会）に関する件（可決）

③2013年度（公社）調布青年会議所 正会員入会に関する件（可決）

第11回理事会 日時：2013年9月26日(木) 20:00~22:00

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

①2013年度（公社）調布青年会議所 10月例会に関する件（可決）

協議事項：

①2013年度（公社）調布青年会議所 11月例会について

②2013年度（公社）調布青年会議所 12月例会について

第12回理事会 日時：2013年10月24日(木) 20:00~22:00

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

①2013年度（公社）調布青年会議所 褒章委員会設置承認に関する件（可決）

②2013年度（公社）調布青年会議所 11月例会に関する件（可決）

③2013年度（公社）調布青年会議所 12月例会 日時場所承認に関する件（可決）

④2013年度（公社）調布青年会議所 正会員入会に関する件（可決）

協議事項：

2013年度（公社）調布青年会議所 12月例会について

第13回理事会 日時：2013年11月28日(木) 20:00~22:00

会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A

審議事項：

①2013年度（公社）調布青年会議所 12月例会に関する件（可決）

②2013年度（公社）調布青年会議所 福祉祭り参画に伴う予算執行に関する件（可決）

③2013年度（公社）調布青年会議所 顧問（案）選任に関する件（可決）

④2013年度（公社）調布青年会議所 事業計画（案）承認に関する件（可決）

⑤2013年度（公社）調布青年会議所 予算書（案）承認に関する件（可決）

⑥2013年度（公社）調布青年会議所 組織図（案）承認に関する件（可決）

⑦2013年度（公社）調布青年会議所 12月第一例会 臨時総会に関する件（可決）

⑧2013年度（公社）調布青年会議所 正会員資格喪失（可決）

協議事項：

なし

理事会出席表

○：出席 ×：欠席 △：遅刻早退 委：委任状

回数	1	2	3	臨1	4	5	6	7	8	9	10	臨2
月/日	11/22	12/27	1/24	2/5	2/28	3/28	4/25	5/23	6/27	7/25	8/29	9/2
理事会出席率	92	83	83	71	92	92	88	83	83	96	83	74
理事会出席数	22	20	20	17	22	22	21	20	20	22	19	17
嵐 祐子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三ツ木 秀章	○	×	○	○	×	○	○	×	×	■	■	■
高橋 昇三	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
前村 久美子	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
松永 和磨	○	○	○	×	△	○	○	○	○	○	○	○
高橋 裕二	○	○	○	△	○	×	△	×	○	○	○	○
斉藤 喜兆	△	△	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
笠木 慎二郎	○	△	○	○	×	○	○	○	△	○	○	○
川端 宏志	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
加藤 百恵	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×
小笠原長武	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
畑野 政大	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
清水 崇司	○	○	○	○	○	△	○	○	×	○	○	○
戸井田 寛	△	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
菅 寛人	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
高橋 秀幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
加園 丈晴	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
中島 茂雄	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○
梶原 良介	○	○	○	○	○	△	×	○	×	○	×	○
渡邊 弘樹	×	○	×	×	○	○	×	○	×	○	○	○
小山 晃一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
瀧柳 伸央	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
和田 勝幸	○	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
山田 啓二郎	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×
セクレタリー	榎本	井上耕	榎本	志田	宮永	井上一	宮	粕谷	宮永	加藤	薄井	柴田

11	12	13	合計	出席率	回数
9/26	10/24	11/28			月/日
83	87	78	84		理事会出席率
19	20	18	299		理事会出席数
○	○	○	15 /15	100	嵐 祐子
■	■	■	5 /9	55	三ツ木 秀章
○	○	○	12 /15	80	高橋 昇三
○	○	○	12 /15	80	前村 久美子
○	×	△	13 /15	87	松永 和磨
×	○	○	12 /15	80	高橋 裕二
○	△	○	13 /15	87	斉藤 喜兆
○	○	×	13 /15	87	笠木 慎二郎
○	○	○	14 /15	93	川端 宏志
○	○	○	12 /15	80	加藤 百恵
○	○	○	15 /15	100	小笠原長武
○	○	△	15 /15	100	畑野 政大
○	○	×	13 /15	87	清水 崇司
○	×	×	10 /15	67	戸井田 寛
○	○	○	14 /15	93	菅 寛人
○	○	○	14 /15	93	高橋 秀幸
○	○	○	13 /15	87	加園 丈晴
×	×	×	8 /15	53	中島 茂雄
×	○	○	11 /15	73	梶原 良介
×	○	×	8 /15	53	渡邊 弘樹
○	○	○	15 /15	100	小山 晃一郎
○	○	△	15 /15	100	瀧柳 伸央
○	○	○	15 /15	100	和田 勝幸
○	○	○	12 /15	80	山田 啓二郎
佐保田	佐藤誠	新田			セクレタリー

役員報告

副理事長 高橋昇三

2013年度副理事長を仰せつかり、青少年委員会を担当させて頂きました。副理事長として嵐理事長のご期待に副う事が出来ませんでした。青少年委員会の担当事業はしっかりと監督させて頂きました。

事業組立時に手法から入らず背景、目的から。議案書の意見と対応を大切に、丁寧に。という点を特に正副委員長には徹底して伝えて参りました。私が先輩から教わったことは余すところなく引き継いできたつもりです。委員会メンバーからも14年度理事を沢山輩出し、頼もしい限りです。1年間本当にありがとうございました。

副理事長 前村久美子

本年は副理事長として、まち「つながり」向上委員会を担当させて頂きました。委員会に対し、スタッフ会理事会協議の意見は大いに取り入れ参考にすべきだけれども、最初に委員会で問題提起し決定したテーマがブレて2回目の協議で全く違うものをあげるようじゃダメ、協議を通じて最初に委員会として打ち出したものをブラッシュアップしていけるように最初にブレない方針を立てるべき、という話をしましたが、菅委員長を中心に初めに方針をしっかりと立て、最後までブレない事業構築をして頂いたと思います。まさに『つながり』をメンバーが共有し得た素晴らしい委員会でありました。ご指導ご協力頂きましたメンバーの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

副理事長 松永和磨

2013年度 理事役員またフォロアーメンバーの皆様、大変お疲れ様でした。

自分自身なかなか年度当初よりエンジンがかかりませんでした。担当委員会の皆様には多々お世話になり最後まで副理事長という役職を全うさせて頂き大変感謝しております。

本年度をもちまして11年間のJCライフのなかで理事としての役職が最後となります。ラッキーという反面なんだか淋しい気もします。

残された1年間は穏やかに和やかに、らしくない自分にも挑戦しながら頑張っています。2014年度もどうぞ宜しくお願い致します。

渉外担当理事 高橋裕二

渉外担当の役割として、他団体と事業を行うことと他団体の事業に協力することを柱に運動してきた。その中で素晴らしい出会いがあった。2年前から続けてきた東日本大震災慰霊祭で共に事業を作ってきたメンバーである。それこそ知り合って2年以上経つわけだが、今年になって学ぶことが多かった。仏教の教えやボランティアの考え方や取り組み方など一流の会話が聞けた。また会いたいと思えた瞬間であり、そのために自分も知識と経験を重ねたいと思う。教えられた言葉の中に「修証一等」とある。修行は悟りのための手段ではなく、修行と悟りは不可分で一体のものだということ。つまり私たちが調布の街をよくしたい、自己成長したい、と思うことこそがすでに調布の町をよくし、自己成長させているということだと理解した。

2014年度、一年間メンバーみんな「修証一等」を忘れずに街のため、子ども達のため、自分自身の為に調査研究からの発表(例会)に期待せずにはられない。

監事 小山晃一郎

2012年度から2年間監事というポジションに見を置き、やや客観的に会の運営を見させて頂きました。それまでは委員会側に属していたため、気持ちの良い一体感を味わっておりましたが、監事は非常に孤独な立ち位置でありました。また、もともと人前で話すことが大嫌いな私にとって、言葉を選びつつ要点を伝えなければならない講評は、毎回心臓や胃に悪影響を及ぼす程でした。ある時頂いた「もっと自分の言葉で話せば良いんだよ」というアドバイスから改善はされてきたものの、なかなか難しい2年間でした。今までお世話になりました皆様、本当にありがとうございました。

監事 渡邊弘樹

2013年度は東京ブロック協議会の会長として出向をさせて頂きましたが、その結果、中々LOMの諸会議に出席できず小山監事に負担をさせてしまいました。ですが、会長として出向できたことにより、今後の調布青年会議所を背負っていく若手メンバーが出向し、多くの事を学び調布青年会議所へ新たな血として持ち帰って来てくれたと思います。監事として職務は全く出来ませんでした。2014年度はラストイヤーとして、若手メンバーと一緒に青年会議所を楽しみながら教を説いていきたいと思っております。1年間本当にお世話になりました。感謝申し上げます。

顧問 梶原良介

2013年度、嵐理事長のお役にたてたのか、なかなか実感を得られずに年末を迎えております。一年間ありがとうございました。

専務理事 山田啓二郎

2013年度、専務理事という重要な職務を頂きました。しかしながら春頃からまともに役割を全うできなくなり、嵐理事長をはじめ、理事役員、メンバーの皆様にご迷惑をおかけすることになってしまいました。そんな中でも専務室をはじめ多くの皆さんのバックアップに助けられ、一年間を終えることが出来ました。

この一年で感じたことは、どんなことでも一人では何もできないということを改めて感じました。仕事においてももちろんですが、JC運動をするにおいても職場や家庭の環境、そして多くのメンバーの協力がなければなにもできません。ひとりひとりの環境に合わせ、その中で協力し合って運動していく。この繋がりこそがJC最大の強みなのではないかと感じました。2013年度で学んだことを今後の人生、そしてあと5年残っているJC運動につなげていきたいと思っております。こんな若輩者を専務として選んで頂いた嵐理事長、不在時に助けてくれた専務室皆様に改めて感謝を申し上げます。一年間ありがとうございました。

副専務理事 和田勝幸

2013年「専務室」として、嵐理事長・山田専務の補佐をさせて頂きました。専務がLOM全体を見直し運営を調整する、専務室は理事長・専務職の総務的な部分をサポートし裏方で支える、という明確な役割分担をいたしました。主担当例会である6月例会の実施の他、理事会設営や、京都会議・全国大会の引率もさせて頂き、業務内容的にはなかなか大変な時期もありましたが、時期を追うごとにそれぞれが主体的に役割を果たし、機能的に動いていたのではと感じております。役務としては得意分野でもありましたので、その部分での成長も感じております。皆様のサポートをする立場でしたが、逆に色々とお世話になる部分も多く、皆様には本当に感謝感謝であります。ありがとうございました。

財務担当理事 瀧柳伸央

2013年、調布青年会議所の年間予算の組み立てから始まり、一年間メンバーから集めた会費の管理を行ってきました。財務担当理事を務めたことでメンバーから集めた会費が調布青年会議所を運営するためにどのような使われ方をしているのか。また、日本青年会議所をはじめ各JC組織へどのようなお金の使われ方をしているのか。とてもよく理解することができました。

今年は東京ブロックの財政局に出向し、そこでメンバーからの会費をどのように使うか、適正に使われているかを議論してきました。ここでの経験を踏まえLOMでも同じ視点で理事会に臨みました。昨年までとは環境が変わり一年間、常に「会費は適正に使われているのか」を考えてばかりの裏方役の存在かつ不慣れな役をこなした2013年度ですが私自身とても勉強になり、裏方役の重要性を再認識できた一年間でした。

委員会報告

翔ばたけ！拡大交流委員会

委員長 川端宏志

拡大委員会の委員長を務めるに当たり、調布青年会議所の中で、調布青年会議所以外の市内で「翔ばたけ！」という意味で委員会名を付けさせていただきました。一年を通じ 10 名の新入会員を迎えることができました。それぞれ 2014 年度は違う委員会・役職になりますが是非とも活躍していただきたいと思います。

年 2 回の事業を担当しましたが、8 月の「ちょうふソーシャルクリーンさんぽ」12 月「卒業例会」と入会したばかりで何もわからない中新入会員を中心に素晴らしい事業を企画・運営してもらいました。委員長として見せる立場になったとき非常に難しさや悩みが多くあった一年間でしたが、周りの支えもありながらなんとか無事に一年間乗り越えられました。ありがとうございました。青年会議所運動が続く限り、拡大は永遠のテーマです。委員長が終わったからと一安心せずに今後も一人でも多くの仲間との出会いを求めて運動していきたいと思います。委員会メンバーの皆さん、本当に一年間ありがとうございました。

副委員長 小笠原長武

委員会が担当した一つ目の事業、8 月例会『ちょうふクリーンさんぽ』では一般の参加者を募り、青年会議所入会の候補者となりうる方と交流する機会を創出するという意味で、一つの方向性を示せたのではないかと考えております。二つ目の 12 月第二例会『卒業式・納会』は、事業の組み立て自体は例年と変わらないものではありませんが、委員の意見を具体化し演出を考えたこともあり、卒業生の皆様に満足できる、そして思い出に残る物になったのではないかと考えております。また卒業記念 DVD が迅速に皆様のお手元にお届けできたのは、編集を中心となってやっていただいた佐藤誠君のおかげであり、感謝してもしきれません。

褒章では宮永保寿君と井上一格君が優秀新人賞に賞せられたことは非常に喜ばしく、委員会として誇らしいことではありますが、その他の新入会員も明朗快活、積極的な方が多く、将来の調布青年会議所の中核を担い、はたまた中には未来の理事長と目せられるような若い方も多く入会され、一丸となって担当事業を構築・実施できたことが収穫の一つだと思っております。一年間本当にありがとうございました。

副委員長 加藤百恵

入会してから二度目の拡大委員会の副委員長を務めさせて頂きました。元気で頼もしい新入会員のみんなと一緒に過ごす事ができて、とても楽しかったです！なかなか動けない日が多く、川端委員長・小笠原副委員長にはご迷惑かけました。遠藤運営幹事・志田会計幹事、色々と助けてくれてありがとう！来年も頑張ろうね♪
翔ばたけ！拡大交流委員会の皆さま、一年間本当にありがとうございました！

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員数	出席人数
1	12/20	事務局 roomB	委員会年間スケジュール・拡大について	5	5
2	1/9	甲州屋	拡大手法について・手法の検討	5	5
3	2/7	事務局 roomB	拡大チラシ内容検討・総会プレゼンについて	9	8
4	3/7	事務局 roomA	拡大チラシについて	9	8
5	3/29	事務局 roomA	8 月例会について・意見交換	10	8
6	4/4	事務局 roomA	8 月例会について	10	7
7	4/18	事務局 roomA	8 月例会について	10	7
8	5/16	事務局 roomA	8 月例会について	11	7
9	5/29	事務局 roomA	8 月例会について	13	7
10	6/20	事務局 roomA	8 月例会について	13	7
11	7/2	事務局 roomA	8 月例会について	13	8
12	7/16	事務局 roomA	8 月例会について	13	9

13	8/6	事務局 roomA	8月例会について	13	9
14	8/24	事務局 roomA	8月例会について	13	9
15	9/20	事務局 roomA	8月例会振り返り・12月例会について	14	9
16	10/3	事務局 roomA	12月例会について	14	7
17	10/17	事務局 roomA	12月例会について	14	6
18	11/7	事務局 roomA	12月例会について	15	7
19	11/21	事務局 roomA	12月例会について	15	9

まち「つながり」向上委員会

委員長 菅寛人

一年を振り返ると、二つの担当事業に対しての組み立てで終始していたように思います。初の委員長ということで少し肩に力が入り、事業をなんとしても成功させなければいけないなどという意識が強すぎたようにも思います。今思うと、もう少し委員会全体を俯瞰し、一人ひとりメンバーに声をかけながら全体を巻き込んで運営していくべきではなかったかなあと。過去お世話になった尊敬し、目標とする委員長達のようにもっと上手くできたのではないかと。ただそれでも、得たものは大きかったです。一年間「つながり」をテーマに運営してきた委員会で一番得たものは、一緒に一年間駆け抜けてくれた委員会メンバーとの「つながり」でした。

反則的な誘い方で委員長にしてくれた前村副理事長、お互いの価値観をぶつけ合いながら細かい指示にも答えていただき、委員会をしっかりと支えてくれた高橋副委員長、委員会運営の要といつも適切な意見を提示してくれた渡邊運営幹事、根本会計幹事、そして全ての委員会メンバーの皆様、本当にありがとうございます！

副委員長 高橋秀幸

2013年度初理事ということで、菅委員長には本当にお世話になりました。議案書の作り方、JCとは？背景とは？目的とは？ということを一から叩き込まれ、二人きりで夜3時まで議案書を作ったことは、多分一生の思い出になることだろうと思います。

しかしながら自分自身、副委員長という立場でありながら、自分のことで手一杯になってしまい、菅委員長・渡邊運営幹事・根本会計幹事を支えきれなかったこと、委員会メンバーをうまく巻き込めなかったことが心残りであり、自分自身が至らなかった点であったと反省が残りました。

初理事を終えて感じたこの反省点と、4月・10月の2つの事業をやり切ったという自信。この気持ちを忘れずに、今後のJC運動に活かしていきたいと思います。1年間、本当にありがとうございました。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員数	出席人数
1	12/22	事務局 RoomA	4月例会について（テーマ・手法）	13	7
2	1/17	事務局 RoomB	4月例会について（テーマ・手法）	13	6
3	2/18	アツアツハイ	4月例会（テーマ・手法・プレゼン内容）	13	8
4	3/18	華肴	4月例会（広報計画・プレゼン、マップ作り詳細）	13	9
5	4/8	事務局 RoomB	4月例会（タイスケ、備品、広報確認）	13	6
6	5/13	TP'S Cafe	4月振り返り、わんぱく相撲について	13	7
7	6/24	事務局 RoomA	10月例会（実行委員会、事業内容、日程）	13	5
8	7/22	事務局 RoomA	10月例会（テーマ、事業内容）	13	4
9	8/8	商工会館	10月例会（講師選定、テーマ、広報計画）	13	5
10	8/23	事務局 RoomA	10月例会（講師選定、テーマ、予算計画）	13	5
11	9/10	事務局 RoomA	10月例会（テーマ、講演内容、交流会内容）	13	6
12	9/20	事務局 RoomA	10月例会（チラシ、予算計画）	13	6
13	9/30	商工会館	10月例会（チラシ、広報計画、交流会内容、役割分担）	13	6
14	10/11	商工会館	10月例会（専用HP、交流会内容、役割分担）	13	3
15	10/18	たづくり会議 室	10月例会（講師打ち合わせ、備品、役割分担）	13	5
16	10/25	商工会館	10月例会（動員報告・計画、備品確認）	13	6
17	11/11	商工会館	10月例会（事業振り返り）	13	4

笑顔育む青少年委員会

委員長 畑野政大

2013年度、初めての委員長という役職を一年間経験させて頂きました。青少年委員会というのは子供たちと一緒に出来る事業ということもあり、子供たちのたくさんの『笑顔』をみたいという目標をたて、とても楽しく運営させて頂きました。そんな中で一人一人本当に個性の強い、すばらしい委員会メンバーに支えられ、地域と一緒に作る『わんぱく相撲』を仙川というまちの中で、例年にないスケール感の大きな、言い表せないほどの価値ある事業を行えたのではないかと思います。

そして毎年悩まされる11月例会も委員会の力によって200名以上の来場のなか、小さな赤ちゃんから幼稚園生、そして小学生までの様々な青少年を対象にキッズヨガを楽しんでもらうことができました。これもひとえに委員会みんなで何度も何度も議論をかさね、とんでもなく苦労して行った結果だと言えます。この経験を生かし次年度以降にも青年会議所運動の展開につなげていければと思います。

最後に、一年間とても楽しくできました。委員会メンバーの皆さま本当にありがとうございました。

副委員長 清水崇司

本年度は笑顔育む青少年委員会の副委員長として、わんぱく相撲とヨガフェスタを行う事が出来ました。今までに無い地域や協賛企業様との取組をする事が出来、大変思い出深い一年になりました。私自身の委員会との係わりに関しては、副委員長としての職務を全う出来たとは言いつらい部分も多々ありましたが、チームとしての連携に関しては委員長以下、メンバーの活躍で大変良い委員会になったかと思えます。

一年間どうもありがとうございました。

副委員長 戸井田寛

入会して2年目で笑顔育む青少年委員会の副委員長をさせて頂きました。右も左もわからない中、委員会メンバーに助けられながら何とか1年間行うことができました。そんな中まずは、わんぱく相撲調布場所が盛大に仙川でできたことメンバーの皆様、OBの方々、地域の方々、ボランティアの皆様にご感謝致します。子供たちの喜んでる姿は、勝ち負けはあるものの良いものだと感じました。11月例会ヨガ体験もわんぱく相撲調布場所と違って1からの事業の組立等大変勉強できました。1年間ありがとうございました。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員会数	出席人数
1	12/20	事務局	わんぱく相撲について	13	8
2	1/17	〃	〃	13	5
3	1/28	〃	〃	13	6
4	2/7	〃	〃	13	8
5	3/8	〃	〃	13	6
6	3/21	〃	〃	13	6
7	4/4	〃	〃	13	7
8	4/18	〃	〃	13	7
9	4/22	〃	〃	13	7
10	5/1	〃	〃	13	5
11	5/8	〃	〃	13	6
12	5/10	〃	わんぱく相撲について公開委員会	13	8
13	5/12	〃	わんぱく相撲準備	13	8
14	5/16	〃	〃	13	7
15	5/22	〃	わんぱく相撲片付け・都大会について	13	7
16	6/20	〃	わんぱく都大会・11月例会について	13	7
17	7/8	〃	11月例会について	13	7

18	7/18	〃	〃	13	6
19	8/5	〃	〃	13	5
20	8/29	〃	〃	13	7
21	9/17	〃	〃	13	7
22	10/3	〃	〃	13	5
23	10/17	〃	〃	13	6
24	11/7	〃	〃	13	10
25	11/21	〃	11 月例会準備	13	7

実行力広報総務委員会

委員長 加園丈晴

2013年度実行力総務広報委員会の委員長を仰せつかりました。加園です。2013年も無事終了し、肩の力が降りたところです。

2013年度の総務・広報の任務として主にあすの調布・ホームページの管理運営を任せられ、事業としてはシニアクラブとの合同納涼例会が担当、その他に専務室の補佐的に総会の準備等をやらさせていただきました。全ての運動について話をここに書くときききれない思いがありますので、自分なりの1年間の思いを報告とさせていただきます。

まず最初にこの職責を頂いたときに正直不安でいっぱいでした。まるっきりコンピューターが無知な私に委員長という大事役職が出来るかどうか本当に心配でした。しかしながら、そこは青年会議所。自分の自己修練の為にもやってみようとおもいました。そこからスタッフを決め、一生懸命一年間メンバーとともにもがき苦しみ頑張った年であるとともに、成長がみれた年でもありました。また来年も自分なりに目的や目標を立て頑張りたいと思います。本当に皆様お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

副委員長 中島茂雄

2013年度、実行力総務広報委員会、副委員長の中島です。

調布青年会議所に入会してから、2回目の委員会として総務委員会で運動してきましたが、基本的には地味な運動です。たまに、めんどくさく感じることもありましたが、副委員長という立場なので1年間を通して運動ができました。総務委員会の運動内容は、事務局の管理、総会の運営、明日の調布作成、HP管理、発送物、理事会の議事録管理など1年間を通じて委員会メンバーで運動することが多く一人では決して、できない委員会です。

この1年、運動を通じて、委員長をはじめ、委員会メンバー、そして委員会をサポートしていただいた専務室の皆様、総務委員会にご協力していただいた方に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員数	出席人数
1	12/11	事務局	あすの調布・ホームページ	12	6
2	1/3	事務局	同上	12	6
3	1/30	事務局	発送	12	6
4	2/27	事務局	同上	12	6
5	3/6	事務局	7月例会	12	4
6	3/7	事務局	同上	12	6
7	3/12	事務局	同上	12	7
8	3/26	事務局	発送	12	4
9	4/16	事務局	7月例会	12	7
10	4/30	事務局	同上	12	6
11	5/13	事務局	同上	12	7
12	5/30	事務局	同上	12	6
13	6/19	事務局	同上	12	6
14	6/28	事務局	発送	12	6
15	7/4	事務局	7月例会	12	6
16	7/5	事務局	7月例会	12	8
17	7/31	事務局	発送	12	7
18	8/29	事務局	発送・報告	12	7
19	9/28	事務局	発送	12	6
20	10/31	事務局	発送	12	6

卒業生3K委員会

委員長 斉藤喜兆

本年は嵐理事長の考えで卒業生委員会をつくりました。卒業生11人中、嵐理事長・小山監事・梶原顧問・和田副専務と4人がそのうち抜け、委員会としては7名ということになりました。少ない人数のなか、まずは賀詞を担当しました。我らの同級生、嵐理事長が調布初の女性理事長ということで、賀詞も女性らしさを演出したいと考えました。また、40数年ぶりの東京ブロック会長を渡邊君がやるということも、賀詞の大きな関門でした。渡邊君が会長を受けたことで、例年より多くのブロック関係者の出席を見込み例年よりさらに間違いなく進行せねばと、たくさんのきめ細かい準備をしました。委員会メンバーも年度入れ替えの忙しい中よくやってくれました。おかげで無事賀詞例会をこなせたと思います。

9月例会・やるき・根気・元気な地域応援につきましても、苦勞の連続でした。理事会では最初の議案で多摩川クリーン作戦をあげましたが、理解されず断念したのも思い出です。しかし最後にはこの例会にて、10年ぶりの100パーセント例会とすることができました。6日間という例会期間をもうけ、諦めずスリープ気味のメンバーにも連絡をとりました。連日の企画内容も卒業生委員会メンバーの5名に自らの例会をやるつもりでこの日替わり企画をやらうと想いを告げ、全員がそれに応えてくれたと思います。

最後に1年間とおして、最初に嵐理事長に言われた「卒業生の背中を後輩に見せて！」という言葉になんとか応えることができたろうと思います。

最後まで自分らしく私はJCをやりとおせました。本当に思い出がいっぱいです。皆様どうもありがとうございました。

副委員長 笠木慎二郎

やる気・根気・元気は我が家の家訓です。本年度理事を務めさせていただき、気付いたことが一つあります。成せば生る。すなわち、本気！です。来年は家訓に本気を付け加えます。やる気の本気に変えて、本気、根気、元気、笠木の精神で頑張りたいと思います。一年間お世話になりました。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	人数
1	10/10	はなの舞	運営監事、会計幹事、担当例会の発表	6
2	10/27	事務局	賀詞について、担当振り分け、議案について	4
3	11/30	事務局	賀詞各担当の進行確認、内容確認	3
4	12/10	事務局	スタッフ会に向けて議案書作成	4
5	1/7	事務局	賀詞最終備品チェック、台本確認	6
6	1/9	たづくり	賀詞予行、最終チェック	4
7	2/4	事務局	賀詞反省、報告書の作成 他	4
8	3/25	事務局	9月例会の方針について 他	3
9	4/9	事務局	9月例会について協議	5
10	5/28	事務局	9月例会の内容を議論 他	5
11	6/18	事務局	9月例会 スタッフ会の意見と対応	2
12	7/18	事務局	9月例会の変更について	3
13	7/22	事務局	9月例会を国体応援になり議案作成	3

14	7/30	事務局	理事会を受けて意見と対応	4
15	8/1	事務局	9月例会 委員会内協議	5
16	8/5	事務局	国体応援各担当に状況確認	5
17	8/6	事務局	9月例会について	5
18	8/10	事務局	スタッフ会の意見と対応	4
19	8/19	事務局	9月例会 議案書内容確認	5
20	8/21	事務局	理事会に向けて最終確認	5
21	8/27	事務局	発送物の確認印刷	5
22	8/31	事務局	発送物の印刷等	3
23	8/31	事務局	発送物の印刷等	3
24	9/9	事務局	9月例会 ポスティング	5
25	9/10	事務局	9月例会 ポスティング	5
26	9/13	事務局	メンバー紹介シートの作成	5
27	9/18	事務局	各店長 最終チェック	5
28	9/20	事務局	9月例会最終チェック メンバー出欠作成	5
29	9/22	事務局	例会前の事務局大掃除	6
30	9/23	事務局	9月例会 各担当報告	4
31	10/31	事務局	9月例会 報告書作成	5
32	11/21	事務局	9月例会 報告書作成	5
33	11/26	事務局	9月例会 報告書最終チェック	5
34	12/9	はなの舞	最終委員会 一年間反省	

理事長選挙管理委員会

委員長 鈴木あゆみ

第一回委員会

開催日時： 2013年7月2日(日)

開催場所： 事務局

出席者： 鈴木あゆみ、瀧柳伸央、小山晃一郎、渡邊涼介、宮永保寿

会議内容： 2013年6月27日の第8回理事会において理事長選挙管理委員会の設立が可決され、告示のために開催

1. 正副委員長の選出 委員長 鈴木あゆみ 副委員長 瀧柳伸央
2. 選挙人名簿の確定をするために、財務担当理事より提出された正会員の現段階の年会費支払い状況報告を審査し選挙人名簿を作成
3. 理事長選挙細則の確認
4. 告知文書として、7月2日付けの理事長選挙告示(細則)と選挙人名簿の発送。

第二回委員会

開催日時： 2013年7月24日(水)

開催場所： 事務局

出席者： 鈴木あゆみ、瀧柳伸央、小山晃一郎、渡邊涼介、宮永保寿

会議内容：

1. 2013年7月2日付けの理事長選挙管理委員会の定めた細則のうち、立候補の締め切りまでに、高橋裕二君から立候補の届け出を受け、公益社団法人調布青年会議所「理事長選挙に関する規定」第16条に該当する立候補者とみなし、同17条による資格審査の結果、候補者として適格と判断し告示する。さらに立候補者が一名のみであったため、当委員会と同29条により「高橋裕二」候補を公益社団法人調布青年会議所理事長選挙当選者として認定した。
2. 告知文書として、公益社団法人調布青年会議所理事長選挙当選者名(告示)、それに伴う、履歴書及び青年会議所における経歴書、青年会議所に対する意見書の作成と発送。

その後の流れ

理事会審議	2013年7月25日	議案	(公社)調布青年会議所理事長選挙当選者	可決
臨時総会	2013年9月19日	議案	(公社)調布青年会議所理事長選挙当選者	可決
通常総会	2013年12月5日	議案	(公社)調布青年会議所理事長承認	可決

以上

褒賞委員会

委員長 瀧柳 伸央

第1回 褒賞委員会の開催

開催日時：平成25年11月21日（木） 22時～23時

開催場所：事務局

出席者：4名（瀧柳伸央、嵐祐子、山田啓二郎、高橋裕二）

会議内容：委員長選出 瀧柳伸央君

褒賞内規の作成について。2013年度褒賞内規を作成することとする。

申請期限を12月3日（火）正午とし、内規及び申請書類を理事メールにて配信することを決定。

第2回 褒賞委員会の開催

開催日時：平成25年12月3日（火） 20時30分～22時30分

開催場所：事務局

出席者：3名（瀧柳伸央、嵐祐子、山田啓二郎）

会議内容：期限までに提出された申請書の内容を精査。ノミネート候補を選定する。併せて賞品について検討。

第3回 褒賞委員会の開催

開催日時：平成25年12月6日（金） 17時～19時

開催場所：事務局

出席者：5名（瀧柳伸央、嵐祐子、山田啓二郎、高橋裕二、渡邊弘樹）

会議内容：褒賞対象者（グループを含む）を部門ごとに検討し、以下の結果とした。

最優秀JAYCEE賞：宮沢 学

優秀JAYCEE賞：堀内 信宏

優秀JAYCEE賞：渡邊 涼介

最優秀新人賞：粕谷 洋亮

優秀新人賞：井上 一格

優秀新人賞：宮永 保寿

最優秀グループ賞：卒業生3K委員会

優秀例会出席賞：嵐 祐子、前村久美子、和田勝幸、瀧柳伸央、高橋裕二
小山晃一郎、渡邊弘樹、梶原良助、加園丈晴、堀内信宏
菅寛人、高橋秀幸、畑野政大、宮沢学、後藤文誉、
斉藤喜兆、平松明、川端宏志、小笠原長武、加藤百恵
井上一格、加藤和歌子
以上 22名

褒賞発表および授賞式

上記褒賞委員会において決定した褒賞対象者を平成25年12月15日（日）開催2013年度公益社団法人調布青年会議所12月第二例会（納会）にて発表し、賞状と記念品の授与を行った。

以上

2013年度 公益社団法人 調布青年会議所

決 算 報 告 書

貸借対照表

正味財産増減計算書

正味財産増減計算書（内訳表）

財産目録

計算書類に付する注記

収支計算書

以下のとおりご報告申し上げます。

2013年度 公益社団法人 調布青年会議所

理 事 長 嵐 祐 子 (印)

専務理事 山 田 啓 二 朗 (印)

財務担当理事 瀧 柳 伸 央 (印)

貸借対照表

平成25年12月31日現在

公益社団法人調布青年会議所

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	887,605	1,374,626	-487,021
未収入金	437,708	824,472	-386,764
立替金	40,000	131,319	-91,319
前渡金	430,000	0	430,000
前払費用	1,150,000	1,450,000	-300,000
流動資産合計	2,945,313	3,780,417	-835,104
2 固定資産			
(1) 特定資産			
周年事業特定預金	600,000	400,000	200,000
事務局取得資金特定預金	8,200,000	7,800,000	400,000
特定資産合計	8,800,000	8,200,000	600,000
(2) その他固定資産			
建物附属設備	1,345,230	1,477,890	-132,660
什器備品	72,450	144,900	-72,450
電話加入権	145,600	145,600	0
その他固定資産合計	1,563,280	1,768,390	-205,110
固定資産合計	10,363,280	9,968,390	394,890
資産合計	13,308,593	13,748,807	-440,214
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	403,233	735,797	-332,564
流動負債合計	403,233	735,797	-332,564
負債合計	403,233	735,797	-332,564
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	12,905,360	13,013,010	-107,650
正味財産合計	12,905,360	13,013,010	-107,650
負債及び正味財産合計	13,308,593	13,748,807	-440,214

正味財産増減計算書

公益社団法人調布青年会議所

自:平成25年1月1日 至:平成25年12月31日

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
新入会員入会金	250,000	400,000	△ 150,000
② 受取会費			
正会員年会費	8,160,000	8,280,000	△ 120,000
賛助会員年会費	830,000	670,000	160,000
③ 事業収益			
事業協賛金	460,000	669,000	△ 209,000
事業登録料	0	610,000	△ 610,000
④ 受取負担金			
出向者負担金	197,650	103,000	94,650
⑤ 雑収益			
受取利息収益	652	1,955	△ 1,303
その他雑収益	351,833	400,310	△ 48,477
経常収益計	10,250,135	11,134,265	△ 884,130
(2) 経常費用			
① 事業費			
旅費交通費	159,636	142,500	17,136
通信運搬費	983,057	676,799	306,258
減価償却費	202,236	93,233	109,003
消耗什器備品費	96,696	146,854	△ 50,158
消耗品費	3,209,310	3,524,842	△ 315,532
印刷製本費	1,787,034	1,238,362	548,672
水道光熱費	193,642	152,883	40,759
賃借料(会場使用料等)	313,875	816,031	△ 502,156
賃借料(事務所家賃)	295,800	49,300	246,500
賃借料(倉庫置き場)	29,580	4,930	24,650
諸謝金	963,212	1,531,434	△ 568,222
雑費	264,346	138,896	125,450
② 管理費			
通信運搬費	8,602	6,061	2,541
減価償却費	2,874	1,327	1,547
消耗什器備品費	1,374	2,086	△ 712
消耗品費	46,706	155,813	△ 109,107
印刷製本費	298,483	496,158	△ 197,675
水道光熱費	2,751	2,172	579
賃借料(事務所家賃)	4,200	700	3,500
賃借料(倉庫置き場)	420	70	350
支払負担金	1,261,447	1,188,008	73,439
慶弔費等	228,750	104,486	124,264
雑費	3,754	242,823	△ 239,069
経常費用計	10,357,785	10,715,768	△ 357,983
当期経常増減額	△ 107,650	418,497	△ 526,147
当期一般正味財産増減額	△ 107,650	418,497	△ 526,147
一般正味財産期首残高	13,013,010	12,594,513	418,497
一般正味財産期末残高	12,905,360	13,013,010	△ 107,650
II. 正味財産期末残高	12,905,360	13,013,010	△ 107,650

【別表F(2)各事業に関連する費用額の配賦計算表(役員等の報酬・給料手当以外の経費

事業年度	自 25 年 1 月 1 日	法人コード	A014986
	至 25 年 12 月 31 日	法人名	公益社団法人調布青年会議所

(上段:配賦の根拠数値、中段:配賦割合、下段:配賦額)(単位:円)

番号	科目名	各事業に関連する費用		配賦基準	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計
		費用の名称	費用の額		公1 明瞭い豊 かな社会 創造事業	小計	共1 共益	小計	
1	消耗品費	消耗品の購入	184,268	使用割合	154,969	154,969	26,718	26,718	2,581
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					154,969	154,969	26,718	26,718	2,581
2	印刷製本費	印刷機(プリンター)保守料・その他印刷代	580,824	使用割合	488,472	488,472	84,219	84,219	8,133
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					488,472	488,472	84,219	84,219	8,133
3	通信運搬費	電話・FAX及び郵送物の発送費用	614,377	使用割合	511,161	511,161	94,614	94,614	8,602
					83.2%	83.2%	15.4%	15.4%	1.4%
					511,161	511,161	94,614	94,614	8,602
4	消耗什器備品費	小額減価償却資産	98,070	使用割合	82,476	82,476	14,220	14,220	1,374
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					82,476	82,476	14,220	14,220	1,374
5	水道光熱費	事務局水道光熱費	196,393	使用割合	163,398	163,398	30,244	30,244	2,751
					83.2%	83.2%	15.4%	15.4%	1.4%
					163,398	163,398	30,244	30,244	2,751
6	雑費	事務所及び事務所経費	268,100	使用割合	223,059	223,059	41,287	41,287	3,754
					83.2%	83.2%	15.4%	15.4%	1.4%
					223,059	223,059	41,287	41,287	3,754
7	減価償却費	印刷機	72,450	使用割合	60,930	60,930	10,505	10,505	1,015
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					60,930	60,930	10,505	10,505	1,015
8	減価償却費	事務所内装設備	97,458	使用割合	81,962	81,962	14,131	14,131	1,365
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					81,962	81,962	14,131	14,131	1,365
9	減価償却費	給排水工事	19,374	使用割合	16,293	16,293	2,809	2,809	272
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					16,293	16,293	2,809	2,809	272
10	減価償却費	電気設備工事	15,828	使用割合	13,311	13,311	2,295	2,295	222
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					13,311	13,311	2,295	2,295	222
11	賃借料	事務所家賃	300,000	使用割合	252,300	252,300	43,500	43,500	4,200
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					252,300	252,300	43,500	43,500	4,200
12	賃借料	倉庫置き場	30,000	使用割合	25,230	25,230	4,350	4,350	420
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					25,230	25,230	4,350	4,350	420
ページ 合計			2,477,142		2,073,561	2,073,561	368,892	368,892	34,689

法人コード	A014986
法人名	公益社団法人調布青年会議所

正味財産増減計算書内訳表
平成25年1月1日から平成25年12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引控除	合計
	公益1 明るい豊かな社 会創造事業	小計	共益1	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取入会金	125,000	125,000	46,847	46,847	78,153	0	250,000
新入会員入会金	125,000	125,000	46,847	46,847	78,153		250,000
受取会費	4,495,000	4,495,000	1,684,605	1,684,605	2,810,395	0	8,990,000
正会員年会費	4,080,000	4,080,000	1,529,075	1,529,075	2,550,925		8,160,000
賛助会員年会費	415,000	415,000	155,530	155,530	259,470		830,000
事業収益	460,000	460,000	0	0	0	0	460,000
事業協賛金	460,000	460,000	0	0	0	0	460,000
受取負担金	0	0	0	0	197,650	0	197,650
出向者負担金会費	0	0	0	0	197,650		197,650
雑収益	326	326	122	122	352,037	0	352,485
預金利息	326	326	122	122	204		652
雑収入		0		0	351,833		351,833
経常収益計	5,080,326	5,080,326	1,731,574	1,731,574	3,438,235	0	10,250,135
(2) 経常費用							
事業費	6,766,850	6,766,850	1,731,574	1,731,574		0	8,498,424
旅費交通費	94,636	94,636	65,000	65,000			159,636
通信運搬費	865,843	865,843	117,214	117,214			983,057
減価償却費	172,496	172,496	29,740	29,740			202,236
消耗什器備品費	82,476	82,476	14,220	14,220			96,696
消耗品費	2,477,259	2,477,259	732,051	732,051			3,209,310
印刷製本費	1,445,285	1,445,285	341,749	341,749			1,787,034
水道光熱費	163,398	163,398	30,244	30,244			193,642
賃借料 (会場使用料等)	135,300	135,300	178,575	178,575			313,875
賃借料 (事務所家賃)	252,300	252,300	43,500	43,500			295,800
賃借料 (倉庫置き場)	25,230	25,230	4,350	4,350			29,580
諸謝金	829,568	829,568	133,644	133,644			963,212
雑費	223,059	223,059	41,287	41,287			264,346
管理費					1,859,361	0	1,859,361
通信運搬費					8,602		8,602
減価償却費					2,874		2,874
消耗什器備品費					1,374		1,374
消耗品費					46,706		46,706
印刷製本費					298,483		298,483
水道光熱費					2,751		2,751
賃借料 (事務所家賃)					4,200		4,200
賃借料 (倉庫置き場)					420		420
支払負担金					1,261,447		1,261,447
慶弔費等					228,750		228,750
雑費					3,754		3,754
経常費用計	6,766,850	6,766,850	1,731,574	1,731,574	1,859,361	0	10,357,785
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,686,524	△ 1,686,524	0	0	1,578,874	0	△ 107,650
当期経常増減額	△ 1,686,524	△ 1,686,524	0	0	1,578,874	0	△ 107,650
当期一般正味財産増減額	△ 1,686,524	△ 1,686,524	0	0	1,578,874	0	△ 107,650

財産目録

平成25年12月31日現在

公益社団法人調布青年会議所

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金(手持現金)	222,103	535,735	-313,632
普通預金(マイズ農業協同組合調布支店)	16,217	74,512	-58,295
普通預金(みずほ銀行調布支店)	71,251	71,239	12
普通預金(三井住友銀行調布駅前支店)	200,486	243,258	-42,772
普通預金(三菱東京UFJ銀行調布支店)	377,235	449,569	-72,334
普通預金(多摩中央信用金庫)	313	313	0
未収入金(出向者負担金他)	437,708	824,472	-386,764
立替金(関東地区登録料他)	40,000	131,319	-91,319
前渡金(2014年共益事業仮払)	430,000	0	430,000
前払費用(事務局賃料前払)	1,150,000	1,450,000	-300,000
流動資産合計	2,945,313	3,780,417	-835,104
2 固定資産			
(1) 特定資産			
周年事業特定預金	600,000	400,000	200,000
事務局取得資金特定預金	8,200,000	7,800,000	400,000
特定資産合計	8,800,000	8,200,000	600,000
(2) その他固定資産			
建物附属設備	1,345,230	1,477,890	-132,660
什器備品	72,450	144,900	-72,450
電話加入権	145,600	145,600	0
その他固定資産合計	1,563,280	1,768,390	-205,110
固定資産合計	10,363,280	9,968,390	394,890
資産合計	13,308,593	13,748,807	-440,214
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金(倉庫賃借料他)	403,233	735,797	-332,564
流動負債合計	403,233	735,797	-332,564
負債合計	403,233	735,797	-332,564
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	12,905,360	13,013,010	-107,650
正味財産合計	12,905,360	13,013,010	-107,650
負債及び正味財産合計	13,308,593	13,748,807	-440,214

計算書類に付する注記

1、重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却方法

有形固定資産の減価償却方法は、定額法によっている。

(2)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理方法は、税込方式によっている。

2、前払費用明細

(単位:円)

資産の内容	支出額	支払年月日	支払効力期間	前期末帳簿価額	当期費用計上額	期末帳簿価額
事務局賃貸料	1,500,000	平成24年11月1日	平成24年11月1日～平成29年10月31日(60月)	1,450,000	300,000	1,150,000
合計	1,500,000			1,450,000	300,000	1,150,000

3、その他固定資産明細

(単位:円)

資産の種類	取得価額	事業供用日	耐用年数	償却率	前期末帳簿価額	当期償却額	期末帳簿価額	当期末償却累計額
建物附属設備								
事務所内装設備	974,580	平成24年11月1日	10年	0.1	958,337	97,458	860,879	113,701
給排水工事	289,170	平成24年11月1日	15年	0.067	285,941	19,374	266,567	22,603
電気設備工事	236,250	平成24年11月1日	15年	0.067	233,612	15,828	217,784	18,466
建物附属設備計	1,500,000				1,477,890	132,660	1,345,230	154,770
什器備品								
カラープリンター	362,250	平成22年12月1日	5年	0.2	144,900	72,450	72,450	289,800
什器備品計	362,250				144,900	72,450	72,450	289,800
電話加入権								
一基	145,600	不明	—	—	145,600	—	145,600	—
電話加入権計	145,600				145,600	—	145,600	—
合計	2,007,850				1,768,390	205,110	1,563,280	444,570

上記の他、以下の固定資産を帳簿価額ゼロ円にて使用している。

資産の種類	取得価額	当期末償却累計額	期末帳簿価額
倉庫	370,000	370,000	0
長尺プリンター	126,429	126,429	0
パイプ椅子他	85,974	85,974	0
合計	582,403	582,403	0

平成25年度 (公社)調布青年会議所収支計算書
自平成25年1月1日—至平成25年12月31日

I. 収入の部

勘定科目	補正	備 考			単位(:円)	
		予算額	決算額	増 減	予算額	決算額
大 中 小						
1. 会費収入	9,632,450	9,187,650	-444,800	正会員会費	7,440,000	7,320,000
1. 会費収入	9,632,450	9,187,650	-444,800	新入会員会費	1,350,000	840,000
1. 会費収入	9,632,450	9,187,650	-444,800	賛助会員会費	650,000	830,000
				日本JC出向負担金	120,000	100,000
				ブロック出向負担金	72,450	97,650
2. 入会金収入	375,000	250,000	-125,000	新入会員	375,000	250,000
1. 入会金収入	375,000	250,000	-125,000			
1. 入会金収入	375,000	250,000	-125,000			
3. 事業収入	400,000	460,000	60,000	わんぱく相撲	400,000	460,000
1. 事業収入	400,000	460,000	60,000			
1. 事業収入	40,000	460,000	420,000			
4. 預金収入	1,000	652	-348	預金利息収入	1,000	652
1. 預金収入	1,000	652	-348			
1. 預金収入	1,000	652	-348			
5. 雑収入	390,000	351,833	-38,167	シニアクラブ通信負担金(Fネット)	0	0
1. 雑収入	390,000	351,833	-38,167	シニアクラブ郵送負担金発送物	140,000	140,000
1. 雑収入	390,000	351,833	-38,167	シニアクラブ名簿負担金名簿作成費	80,000	80,000
				その他(祝金:自販機手数料)		131,833
6. 積立金取崩収入	0	0	0			
1. 雑収入 周年事業積立金取崩	0	0	0			
1. 周年事業積立金取崩	0	0	0			
当期収入合計	10,798,450	10,250,135	-548,315			
前期繰越収入合計	1,594,620	1,594,620	0			
収入合計	12,393,070	11,844,755	-548,315			

II. 支出の部

勘定科目	補正	備 考			単位(:円)	
		予算額	決算額	増 減	予算額	決算額
大 中 小						
1. 事業費	6,133,000	4,693,289	-1,439,711		6,133,000	4,693,289
1. 給料手当	0	0	0			
1. 給料手当	0	0	0			
2. 文化まちづくり事業費	2,933,000	2,051,113	-881,887		2,933,000	2,051,113
1. 諸謝金	533,000	227,903	-305,097			
2. 消耗品費	1,165,000	1,087,236	-77,764			
3. 通信運搬費	320,000	201,740	-118,260			
4. 印刷製本費	630,000	411,998	-218,002	内、事務局印刷機使用		7,998
5. 旅費交通費	50,000	84,636	34,636			
6. 賃借料	235,000	37,600	-197,400			
3. 産業経済事業費	200,000	185,489	-14,511		200,000	185,489
1. 諸謝金	30,000	2,311	-27,689			
2. 消耗品費	130,000	71,033	-58,967			
3. 通信運搬費	2,000	20,000	18,000			
4. 印刷製本費	38,000	77,595	39,595	内、事務局印刷機使用		2,595
5. 旅費交通費		0	0			
6. 賃借料		14,550	14,550			
4. 青少年健全育成事業費	1,800,000	1,464,750	-335,250		1,800,000	1,464,750
1. 諸謝金	250,000	350,735	100,735			
2. 消耗品費	1,000,000	710,033	-289,967			
3. 通信運搬費	150,000	21,642	-128,358			
4. 印刷製本費	250,000	289,190	39,190	内、事務局印刷機使用		44,925
5. 旅費交通費	100,000	10,000	-90,000			
6. 賃借料	50,000	83,150	33,150			
5. 指導力等研究実践事業費	1,200,000	991,937	-208,063		1,200,000	991,937
1. 諸謝金	200,000	248,619	48,619			
2. 消耗品費	650,000	453,998	-196,002			
3. 通信運搬費	100,000	11,300	-88,700			
4. 印刷製本費	200,000	178,030	-21,970	内、事務局印刷機使用		74,430
5. 旅費交通費	0	0	0			
6. 賃借料	50,000	0	-50,000			
2. 管理費	5,650,350	5,159,386	-490,964	2. 総会資料印刷代	70,000	69,825
1. 事務費	2,888,350	3,276,046	387,696	2. 会員名簿作成代	220,000	220,525
1. 消耗品費	200,000	194,288	-5,712	2. 印刷機貸付(カウンター)	150,000	477,124
2. 印刷製本費	675,000	871,174	196,174	2. 定款印刷製本費	235,000	0
3. 通信運搬費	400,000	614,377	214,377	4. ハンコン購入支出	0	98,070
4. 什器備品費	0	98,070	98,070	5. LOM登録料等	50,000	7,700
5. 負担金支出	1,469,350	1,261,447	-207,903	5. 日本JC基本金	45,000	45,000
6. 雑費	144,000	246,710	102,710	5. 日本付加金	631,400	510,347
				5. 購読料	231,000	205,750
				5. 日本出向負担金	120,000	100,000
				5. 関東地区基本金	10,000	10,000
				5. 関東地区付加金	38,500	35,000
				5. ブロック基本金	40,000	40,000
				5. ブロック出向負担金	231,000	97,650
				5. ブロック付加金	72,450	210,000
				6. JC保険料	0	0
				6. ネームプレート	24,000	27,015
				6. 税理士顧問料	120,000	120,000
2. 事務局経費	256,000	247,783	-8,217	2. 片桐倉庫賃料 30,000円	30,000	30,000
1. 給料手当	0	0	0	4. 雑費	50,000	0
2. 賃借料	30,000	30,000	0	4. 事務局保険料	26,000	21,390
3. 水道光熱費	150,000	196,393	46,393			
4. 雑費	76,000	21,390	-54,610			
3. その他の管理費	2,506,000	1,635,557	-870,443	1. 運営委員会費	50,000	44,125
1. 消耗品費	196,000	145,414	-50,586	1. 卒業記念品	126,000	101,289
2. 諸費	2,310,000	1,490,143	-819,857	1. その他の消耗品費	20,000	0
				2. 新着地域懇談会	350,000	297,103
				2. 新着地域懇談会	610,000	535,704
				2. 公證書・その他(慶弔類)	300,000	228,750
				2. 東京ブロック協議会会員大会参加	500,000	65,287
				2. 会員及び会員家族交流会	300,000	124,500
				2. シニア合同懇談会	200,000	196,784
				2. 会員誌次の調査研究	50,000	42,015
3. 種々基金支出	600,000	600,000	0			
1. 周年事業積立支出	200,000	200,000	0			
1. 周年事業積立支出	200,000	200,000	0			
2. 事務局建設積立金支出	400,000	400,000	0			
2. 事務局建設積立金支出	400,000	400,000	0			
4. 予備費	9,720	0	-9,720			
1. 予備費	9,720	0	-9,720			
1. 予備費	9,720	0	-9,720			
当期支出合計	12,393,070	10,452,675	-1,940,395			
当期収支差額	0	1,392,080	1,392,080			
当期繰越収支差額	0	1,392,080	1,392,080			

平成25年度 社団法人 調布青年会議所
収支予算事業費内訳表

2. 文化まちづくり事業費																	小計		
	あすの調布の発行		HPの管理・更新		他団体地費の参画・協力(まち検定)		福祉まつりの参画		未来への希望がもてるまちづくり		東日本復興支援		公開討論会		防災に関する普及啓発及び防災対策に関する調査・研究・啓発		予算額	決算額	
	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額			
諸謝金			120,000	131,500	100,000	105,000		30,000	20,745	150,000	122,903	200,000	43,000	25,000		40,000		533,000	227,903
消耗品費	100,000	100,000	80,000	13,860	200,000	100,000				150,000	110,736	300,000	652,336		320,000	71,919	1,145,000	1,087,236	
通信運搬費					100,000	26,000				50,000	61,880	50,000	61,880		20,000		400,000	201,740	
印刷製本費	100,000	100,000			60,000	65,000				100,000	155,000	110,000	84,000	100,000	100,000		570,000	404,000	
事務局印刷費											6,768		1,230				0	7,998	
旅費交通費												40,000			10,000	84,636	50,000	84,636	
賃借料					40,000			4,200	50,000	33,400		100,000		35,000	10,000		235,000	37,600	
合計	200,000	200,000	200,000	145,360	500,000	296,000	30,000	24,945	500,000	428,807	800,000	799,446	203,000	0	500,000	156,555	2,933,000	2,051,113	

3. 産業経済事業費				小計		
	予算額		決算額		予算額	決算額
	諸謝金	30,000	2,311	30,000		
消耗品費	130,000	71,033	130,000	71,033	130,000	71,033
通信運搬費	2,000	20,000	2,000	20,000	2,000	20,000
印刷製本費	38,000	75,000	38,000	75,000	38,000	75,000
事務局印刷費		2,595	0	2,595	0	2,595
旅費交通費		0	0	0	0	0
賃借料		14,550	0	14,550	0	14,550
合計	200,000	185,489	200,000	185,489	200,000	185,489

4. 青少年健全育成事業費							小計	
	わんぱく相撲調布場所の開催		ひとづくり明るい豊かな社会の創造に向けて未来の担い手を育成		他団体事業の参画・協力(調布から復興支援)		予算額	決算額
	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
諸謝金	100,000	80,000	150,000	270,735			250,000	350,785
消耗品費	300,000	316,685	300,000	287,951	400,000	105,397	1,000,000	710,033
通信運搬費	100,000	21,642	50,000				150,000	21,642
印刷製本費	100,000	104,700	150,000	139,565			250,000	244,265
事務局印刷費		43,490		1,435			0	44,925
旅費交通費	100,000	10,000					100,000	10,000
賃借料		83,150	50,000				50,000	83,150
合計	700,000	659,667	700,000	699,686	400,000	105,397	1,800,000	1,464,750

5. 指導力等研究実践事業費						小計	
	会員拡大リーダーの育成		地域と連携、地域から頼られ、信頼される組織を目標として		予算額	決算額	
	予算額	決算額	予算額	決算額			
諸謝金	50,000		150,000	248,619	200,000	248,619	
消耗品費	300,000	309,152	350,000	144,836	650,000	453,888	
通信運搬費	50,000	111,300	50,000		100,000	111,300	
印刷製本費	150,000		50,000	103,600	200,000	103,600	
事務局印刷費		34,930		39,500	0	74,430	
旅費交通費		0		0	0	0	
賃借料	50,000				50,000	0	
合計	600,000	455,382	600,000	536,555	1,200,000	991,937	